



事業名	広報・窓口案内バリアフリー向上事業	部課(室)	総務部 県民情報広報課	事業 開始年度	H28
-----	-------------------	-------	----------------	------------	-----

総合計画	10の事項	3	高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること	中項目	4	障害者が自立して生活できる社会をつくる
	小項目	2	障害者の地域生活支援	施策	4	障害者の権利擁護

**1 事業のねらい・目的**

障害者等に対する情報提供体制の充実を図ることにより、障害の有無によって分け隔てられることなく、障害のある人もない人も共に生きる福岡県を目指す。

**2 事業概要**

1 広報業務における視覚・聴覚障害者へのサービス充実 (事業費 7,327千円)  
 ①全戸配布広報紙の点字版作成 (事業費 5,588千円)  
 県政情報を広報する中心的媒体である全戸配布広報紙「福岡県だより」の点字版を作成し、視覚障害者への情報提供を拡充する。  
 (平成26年3月31日現在 身障手帳所持者数228,809人(うち視覚障害者数16,495人))  
 ②「ふくおかインターネットテレビ(知事記者会見)」における字幕の付与(事業費 1,517千円)  
 県政発信の重要な機会である知事記者会見の「ふくおかインターネットテレビ」での配信に際して、新たに字幕を付与し、聴覚障害者への情報提供を拡充する。

2 案内窓口における対応等の充実(事業費222千円)  
 ・総合案内窓口への補聴支援システムの設置  
 県庁総合案内窓口に支援システムを設置し、難聴者(お年寄りや耳の聞こえにくい方)に対する案内業務に活用する。  
 (支援システム:マイクを通じて案内することで、雑音に影響されにくいクリアな音声で案内することが出来る。)

**【事業スキーム図】**

1 広報業務における視覚・聴覚障害者へのサービスの充実

① 全戸配布広報紙の点字版作成

```

    graph LR
      A[県] -- ①委託契約 --> B[点字版製作者  
(社会福祉法人福岡県盲人協会等)]
      B -- ②原稿送付 --> A
      B -- ③点字ふくおか製作 --> C[視覚障害者]
      C -- ④点字ふくおか送付(郵送) --> B
    
```


②「ふくおかインターネットテレビ(知事記者会見)」における字幕の付与

```

    graph LR
      A[県] -- ①委託契約 --> B[インターネットテレビ製作者]
      B -- ②原稿送付 --> A
      B -- ③動画製作、字幕付与、公開 --> C[視聴者]
    
```

2 案内窓口における対応等の充実

補聴支援システムの設置



【総合案内窓口】  
 ・補聴支援システムによる、耳が聞こえにくい難聴者への案内・相談

**3 事業目標等**

成果指標		H27	H28	H29	H30	H	H
全戸配布広報紙の点字版作成	目標	—	600	600	600	—	—
	実績	0	—	—	—	—	—

**【指標の考え方】**  
 必要部数の確保を図る。(4年目以降については要望等の状況を踏まえ検討。)

4 事業費(千円)	H28当初			人件費	H28		
歳出	7,327	—	—	時間	20	—	—
(うち一般財源)	7,327	—	—	人件費(千円)	83	—	—

**5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等**

障害者福祉課 重点事業「障害者とのコミュニケーション推進費」の「広報・窓口案内業務における障害者へのサービス充実」

事業名	女性リーダー養成事業	部課(室)	総務部 私学学事振興局学事課	事業 開始年度	H28
-----	------------	-------	-------------------	------------	-----

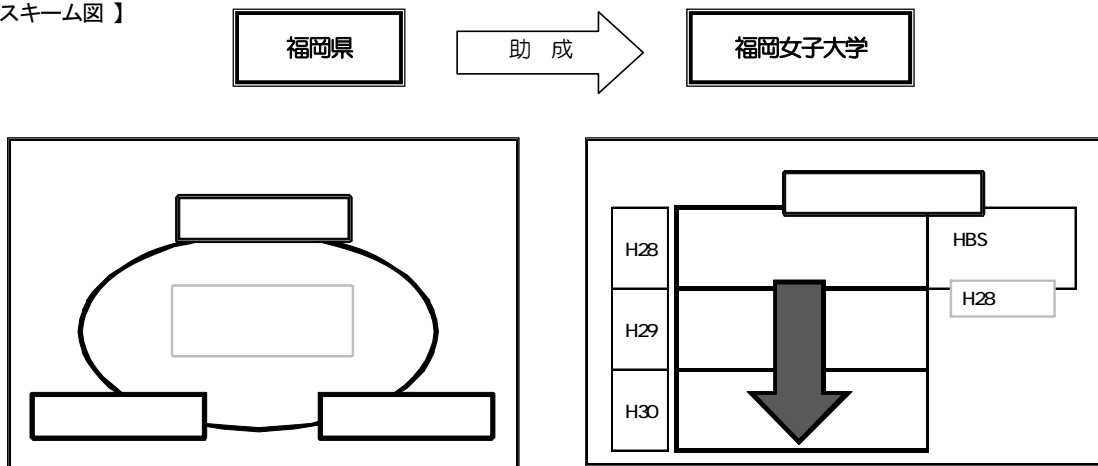
総合 計画	10の事項	6	子ども・若者が夢を抱き、将来にむかってはばたけること	中項目	3	信頼される学校をつくる
	小項目	2	魅力ある学校づくり	施策		

1 事業のねらい・目的  
福岡女子大学の国際化・人材育成体制の強化による、次代を担う女性リーダーの育成

2 事業概要

- 欧米地域の有力大学との研究・教育に関する連携体制(コンソーシアム)の拡大  
アジアの大学と整備したコンソーシアムに、欧米から新たに大学を加えて拡大し、女性リーダーシップ、環境等に先進的な知見を有する欧米大学との教育研究における連携を促進する。(H28~H31)
- ふくおか女性エグゼクティブ養成プログラム(仮称)
  - ①企業の管理職等の女性を対象とした女性トップリーダー養成研修
    - ・女性トップリーダーとして必要な素養を身につけるための研修プログラムを実施。(H28~H30)
    - ・対象：企業の管理職等の女性20名(企業の役員等幹部候補者)
  - ②ハーバードビジネススクール(HBS)教授等トップクラスの講師による女性リーダーシップに関するセミナー(H28)
    - ・国と共催、一般参加者も募集

【事業スキーム図】



3 事業目標等

成果指標		H27	H28	H29	H30	H	H
参加者の研修受講満足度(アンケート)	目標	—	100%	100%	100%	—	—
	実績	—	—	—	—	—	—

【指標の考え方】  
・参加者への研修後アンケート調査等により事業効果を図る。研修内容の満足度を指標とし100%を目標とする。

4 事業費(千円)	H27.2月補正	H28当初			人件費	H28		
歳出	10,739	0	—	—	時間	100	—	—
(うち一般財源)	10,739	0	—	—	人件費(千円)	411	—	—

5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等

事業名	学習ボランティア派遣事業	部課(室)	総務部 私学学事振興局学事課	事業 開始年度	H28
-----	--------------	-------	-------------------	------------	-----

総合計画	10の事項	6	子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること	中項目	3	信頼される学校をつくる
	小項目	2	魅力ある学校づくり	施策		

**1 事業のねらい・目的**

○福岡県立大学による市町村の学力向上事業の支援、筑豊地区小学生・中学生の学力向上  
○より職業生活に近い継続的なボランティア関与による、福岡県立大学生の対人支援職従事者としての資質の向上

**2 事業概要**

- 学習ボランティア（福岡県立大学生）の市町村への派遣  
市町村教育委員会と連携し、各市町村が主催する小中学校等での学習機会等に学習ボランティアを派遣  
・主な派遣機会：◎土曜、放課後、長期休暇中の補習学習の補助  
◎社会教育施設等主催の体験活動の支援  
◎その他の支援  
・年間総派遣回数500回程度（平成28年度）
- 質の高い学習ボランティアの育成（事前・現地・事後指導）  
教員免許所持者、スクールソーシャルワーカー相当者が指導員となり、学習ボランティアとして派遣される学生を各段階で指導  
・主な指導内容：◎学習ボランティアへの教育方法や内容についての随時の指導  
◎学生の活動記録に基づく事後の指導  
◎学習ボランティアの活動現場に出向いての巡回指導
- 学習ボランティア派遣事務の管理・運営  
学習ボランティアの派遣にかかる事務を実施・記録し、実施内容の改善を図る  
・主な事務内容：◎市町村教育委員会との連絡調整  
◎学習ボランティア等の旅費・謝金の精算ほか会計事務  
◎筑豊地区等県民意識調査等の実施、活動年報の作成  
◎次年度に向けたフィードバック

**【事業スキーム図】**

**3 事業目標等**

成果指標		H27	H28	H29	H30	H	H
学習ボランティア登録者数	目標	—	50人	130人	240人		
	実績		—	—	—	—	—

**【指標の考え方】**  
OH28年度は学生ボランティア登録数50人で事業を開始し、H30年度には大学定員960名の1/4に相当する240名登録を目指す

<b>4 事業費 (千円)</b>	H27.2月補正	H28当初			人件費	H28		
歳出	12,011	0	—	—	時間	100	—	—
(うち一般財源)	12,011	0	—	—	人件費(千円)	411	—	—

**5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等**







		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				

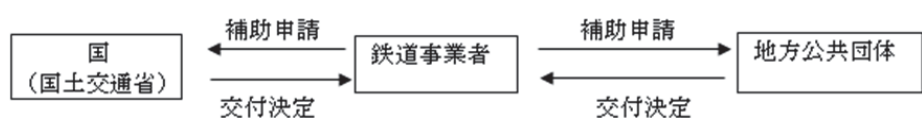
		<&*	<&+	fl Z 七	5fl ! 七	6fl ! 七
		*) Z-' *	% Z', %	&+Z&&\$%	(' Z), &	' , Z+')
		*Z%&\$	\$	*Z%&\$	*Z%&\$	\$
		&Z% \$	\$	&Z% \$	&Z% \$	\$
		(Z+&)	\$	(Z+' \$	(Z+' \$	)
		+ , Z-) %	% Z', %	(\$Z&&%)	)*Z*\$&	' , Z+' \$

fl 七	)Sz-' *	%Z\$\$\$				
			<&*	<&+	fl Z 七	5fl ! 七
			&*Z&&**	&Z+&-	%(Z% &	%Z, -%
	七 fl fl	七 fl	&(Z'+\$	-Z**-	&Z\$&&	%Z*-%
			%Z\$\$\$	' Z-, '	%Z\$%+	%Z\$\$\$
			*) Z-' *	% Z', %	&+Z&&\$%	(' Z), &

fl 七

>F >F

<&  
fB% #, 七 fB% #( 七  
<&



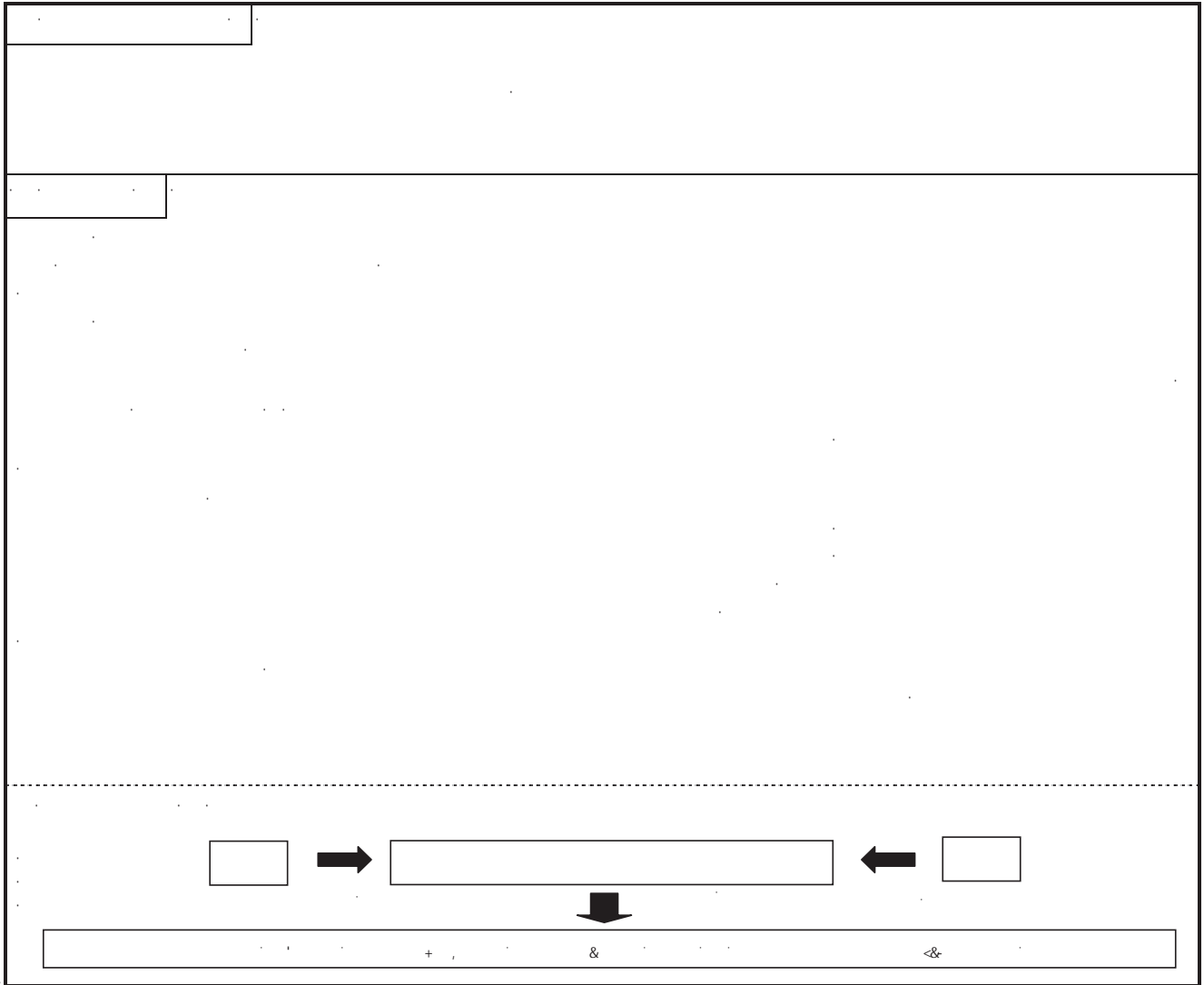






		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	*		&	
	&		%	



		<&+	<&	<&	<\$	<	<
			%&\$	%&\$	%&\$		

	<&				<&		
	+Z%				%&*\$		
	+Z%				)Z%+		

--	--

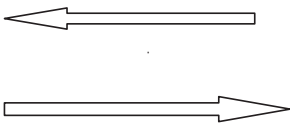
		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$			

+) \$

%) \$\$

---



		<&+	<&	<&	< \$	< %	<
		+	%	-	-	%&	

	<&		<&
	(%&+\$		*(
	&%&-&		&ž**&

--	--

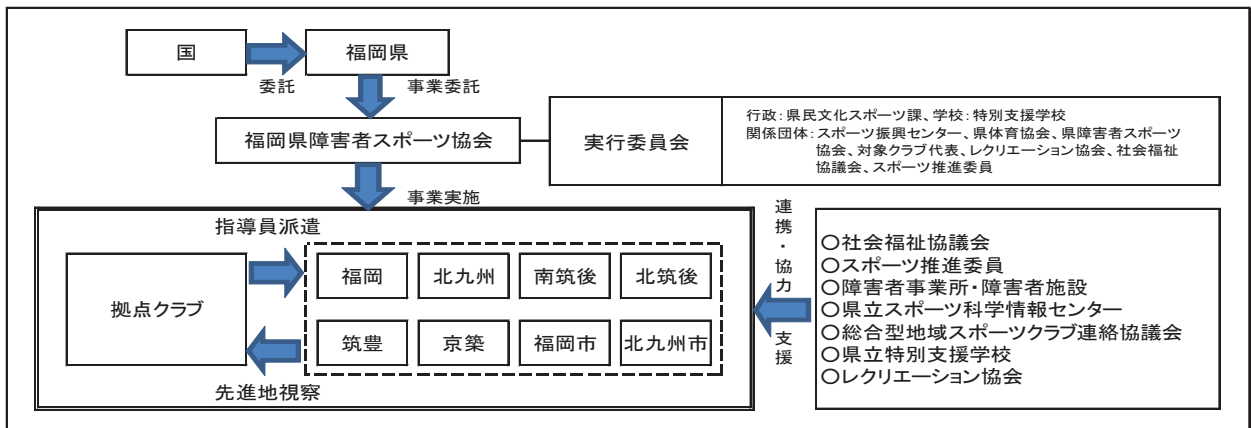


		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	%\$		%	
	&		%	

8-6 5D

8-6 七







事業名	企業における女性の活躍推進事業	部課(室)	新社会推進部 男女共同参画推進課	事業 開始年度	H28
-----	-----------------	-------	---------------------	------------	-----

総合 計画	10の事項	4	女性がいきいきと働き活躍できること	中項目	1	女性が活躍する社会をつくる
	小項目	2	指導的地位への女性の進出促進	施策	1	政策・方針決定過程への参画促進

1 事業のねらい・目的		<p>本年8月、女性活躍推進法が成立し、女性の活躍を強化・加速化する必要。 企業のニーズを的確に把握し、経済団体や業界団体と連携して個々の中小企業の課題に応じたきめ細かな支援を行う。</p>				
2 事業概要		<p>(1) 福岡県女性の活躍応援会議の設置 女性活躍推進法に規定されている協議会を設置し、中小企業のニーズを的確に把握しながら、県全体で女性活躍推進を効果的に進めていくための取組み等について協議する。 構成：県、福岡労働局、女性の大活躍推進福岡県会議、福岡県商工会議所連合会、福岡県中小企業家同友会、JA福岡中央会、福岡県信用金庫協会、福岡県建設業協会等 協議事項：中小企業における女性活躍推進の効果的な取組、各構成団体の協力体制、団体傘下企業に対する働きかけ</p> <p>(2) 「よくわかる女性活躍支援の手引き」の作成・配布 企業が女性の活躍を推進するために必要な具体的手法（規模別・課題別）、国・県の施策等の情報を一括集約した資料集を作成（2,700部） 活用方法：応援会議参加団体に配布、女性の活躍推進の研修でテキストとして活用する。</p> <p>(3) 女性活躍推進企業内研修支援事業 経済団体や業界団体が行う企業向け研修や女性の活躍を検討している企業が行う研修等に、女性活躍に力を入れている経営者等を講師として派遣する。 派遣回数：30回</p> <p>(4) 中小企業女性活躍の実務専門家の派遣 中小企業に対し、女性が敬遠する職場イメージを払拭する職場環境づくり、女性の挑戦意欲を高めるための取組み、女性社員の戦力化に向けての社内の理解促進等、企業の規模・課題に応じた診断・助言を行う専門家を派遣し、女性の働きやすい環境整備などの取組みを支援する。 派遣企業：30社</p>				
【事業スキーム図】						

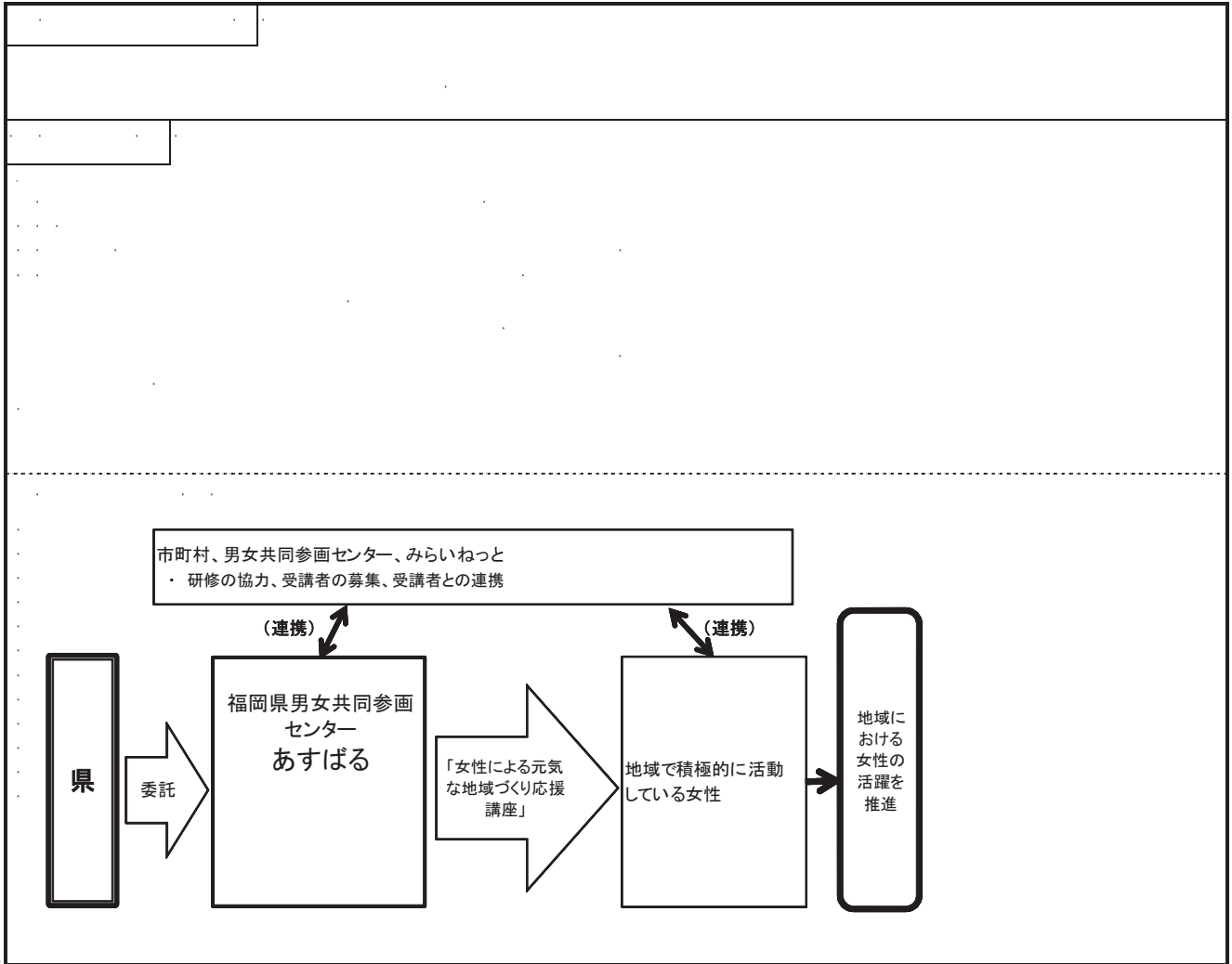
3 事業目標等							
成果指標		H26	H28	H29	H30	H31	H32
女性管理職割合	目標	—	—	—	—	16%	—
	実績	15.5%	—	—	—	—	—
企業内研修講師派遣数	目標	—	30	30	30	—	—

4 事業費 (千円)	H28当初			人件費	H28		
歳出	4,540	—	—	時間	3,450	—	—
(うち一般財源)	4,540	—	—	人件費 (千円)	14,173	—	—

5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等	
-------------------------	--

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



		<&*	<&	<&	<\$	<%	<&
		"%					%&
		&"%					(\$

(

	<&+&	<&			<&		
	%-\$)	\$			%&		
	%-\$)	\$			((		




		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				

		<&+	<&	<&	<\$	<%	<&
		)-					%\$\$

&+                      %\$\$

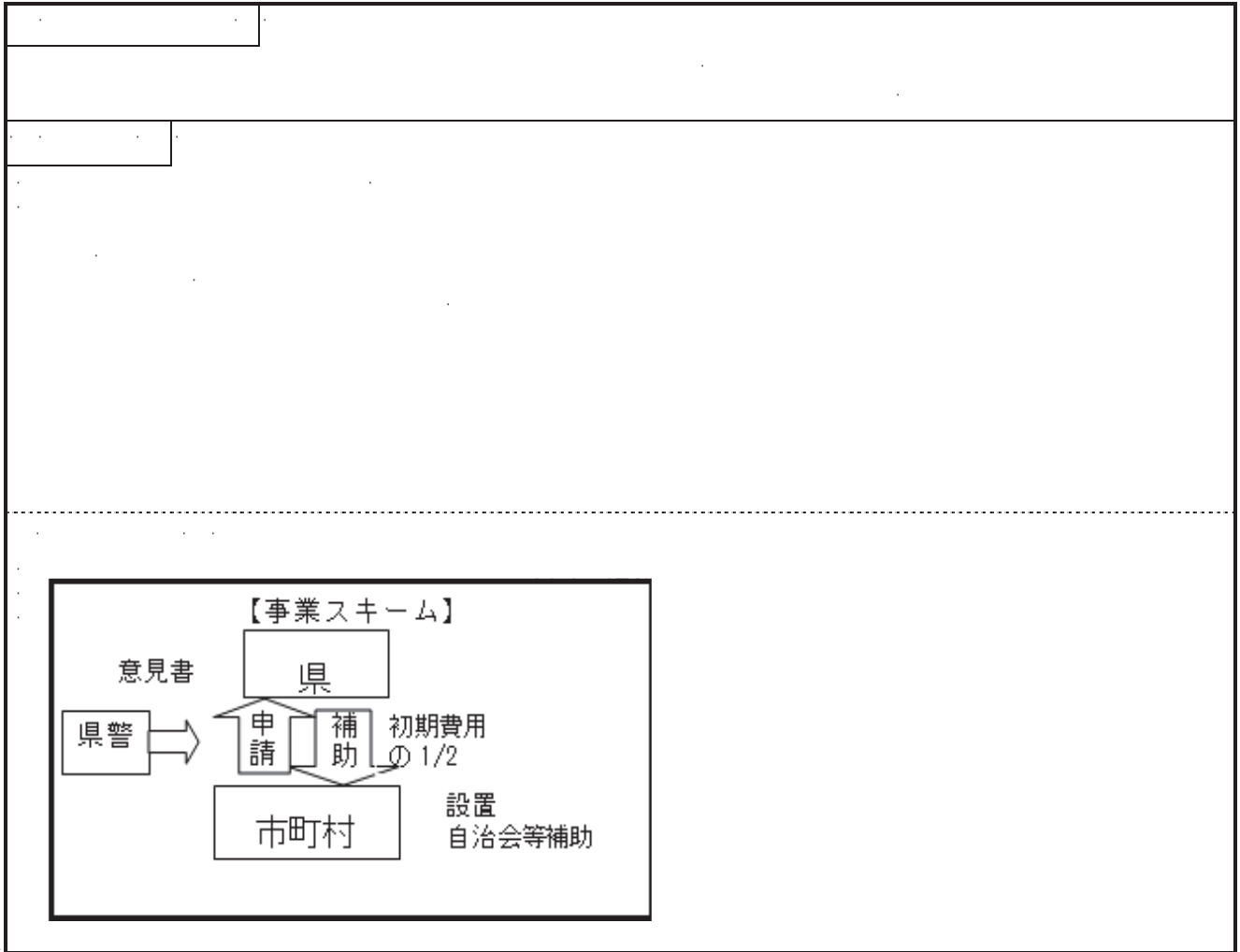
&+''

	&				&		
	z\$)				z)		
	z\$)				%z(&+		



		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



		<&t	<&	<&	<\$
fl 七					

	<&				<&		
	*z'')				%z, %t		
	*z'')				+z(*)		

--	--	--	--	--

事業名	地域における健康づくり活動支援事業	部課(室)	保健医療介護部 健康増進課	事業 開始年度	H28
-----	-------------------	-------	------------------	------------	-----

総合計画	10の事項	7	誰もが元気で健康に暮らせること	中項目	1	生涯を通して健康で過ごせる社会をつくる
	小項目	1	県民の健康の保持増進	施策	1	健康づくりの推進

**1 事業のねらい・目的**

市町村が行う健康づくりに関するイベント等において、健康測定機器による測定を支援し、健康づくりのきっかけを提供する市町村を増やすことで、住民の自主的な健康づくりを推進する。

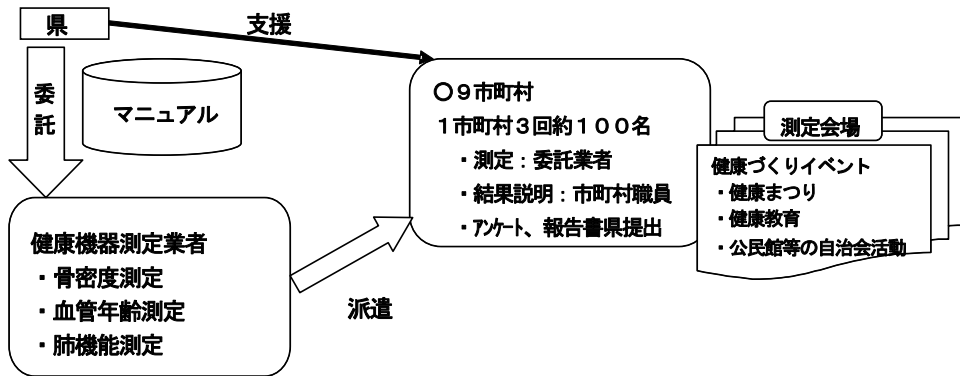
**2 事業概要**

○地域における健康づくり活動支援事業

①健康測定機器を活用した自主的健康づくりの支援マニュアルを作成、市町村に配布  
 ②測定が実施できる事業者に委託し市町村に派遣  
 ③健康測定機器を活用した健康づくりの取組みの好事例を把握し報告書を作成。  
 ④報告会の開催による県内の市町村への周知

県の支援を受け市町村は、健康づくりイベント等において、マニュアルを基に事業者とともに健康測定機器による測定とアドバイスや健康教育を実施する。

【事業スキーム図】



**3 事業目標等**

成果指標		H27	H28	H29	H30	H	H
支援市町村数	目標	—	9	9	9	—	—
	実績	—	—	—	—	—	—

【指標の考え方】  
 ・保健所1か所につき1市町村、県全体で9市町村を目標とする。

4 事業費 (千円)	H28当初			人件費	H28		
歳出	1,671	—	—	時間	352	—	—
(うち一般財源)	1,671	—	—	人件費(千円)	1,446	—	—

**5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等**



事業名	周産期医療対策事業 (周産期救急搬送時受入調整事業)	部課(室)	保健医療介護部 医療指導課	事業 開始年度	H28
-----	-------------------------------	-------	------------------	------------	-----

総合 計画	10の事項	5	安心して子育てができること	中項目	2	安心して子どもを産み育てることができる社会をつくる
	小項目	1	安心して出産・育児ができる社会づくりの推進	施策	1	周産期医療体制の確保

1 事業のねらい・目的

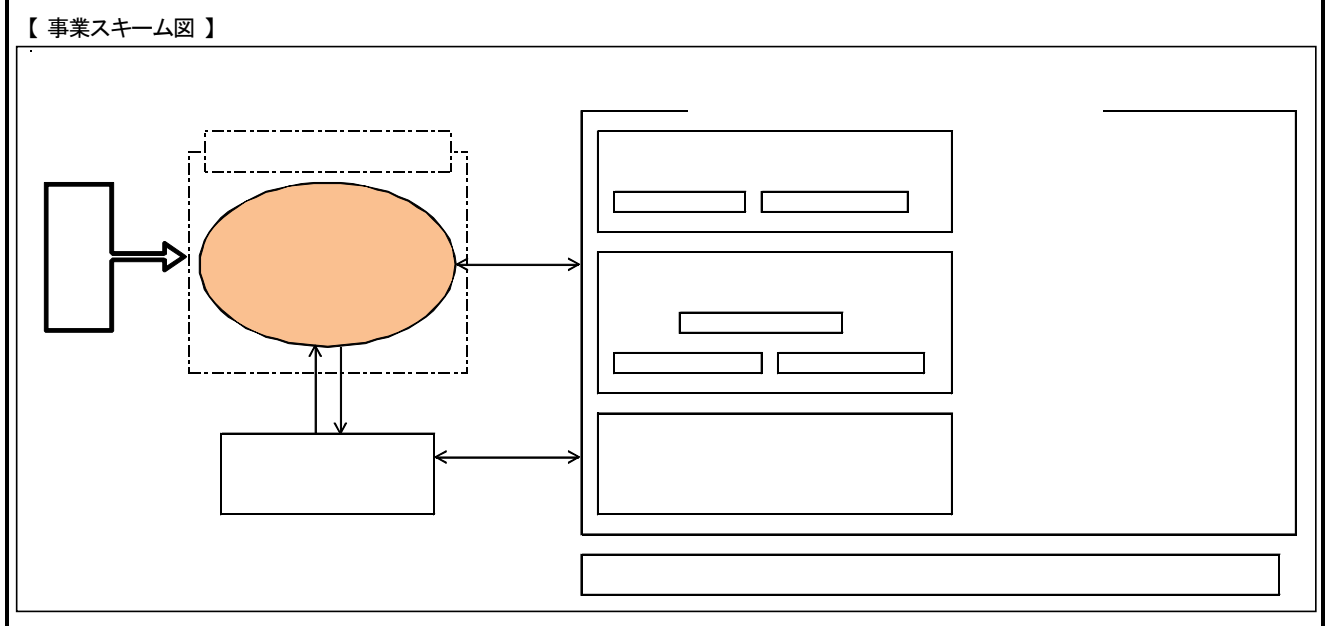
- 福岡地域の周産期母子医療センターの医師の負担を緩和するとともに、母体搬送受入不可の事案を解消し、搬送の円滑化を図る。
- 福岡地域の総合周産期母子医療センターが、常時重篤な患者に対応できるよう、NICU病床の空床確保を図る。

2 事業概要

①受入可否情報の共有化  
スマートフォンを活用して、福岡地域における周産期母子医療センター等の医療機関の医師等が、リアルタイムで受入可否情報を入力・把握できるようにする。

②搬送コーディネーターの設置  
福岡地域における一般産科医療機関等からの救急搬送要請を受け、受入基準や当日の受入可否情報に沿い、搬送先医療機関の選定・調整を行う母体搬送コーディネーターを総合周産期母子医療センターに設置する。  
(人員体制が手薄になる夜間・休日における医師の負担が特に大きいことから、コーディネーターの設置は夜間・休日のみ(=通常診療時間外)とする。)

③事例検討会及び事業検討会の実施  
コーディネーター設置施設の医師・助産師による事例検討会、福岡地域の関係医療機関等による事業検証会議を通じて、事業の効果や有り方について検証を行う。



3 事業目標等

成果指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30
母体搬送受入不可事例の解消	目標	—	—	—	133件未満	133件未満
	実績	133件	調査予定	調査予定	—	—

【指標の考え方】  
厚生労働省実施の「周産期母子医療センター評価に係る調査」において、福岡地域におけるH25年度の母体搬送受入不可件数は133件であり、本事業により、当該件数の減少をめざす。

4 事業費(千円)	H28当初			人件費	H28		
歳出	13,513	—	—	時間	504	—	—
(うち一般財源)	6,757	—	—	人件費(千円)	2,071	—	—

5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等

特になし

		fl 7		
--	--	------	--	--

%\$				

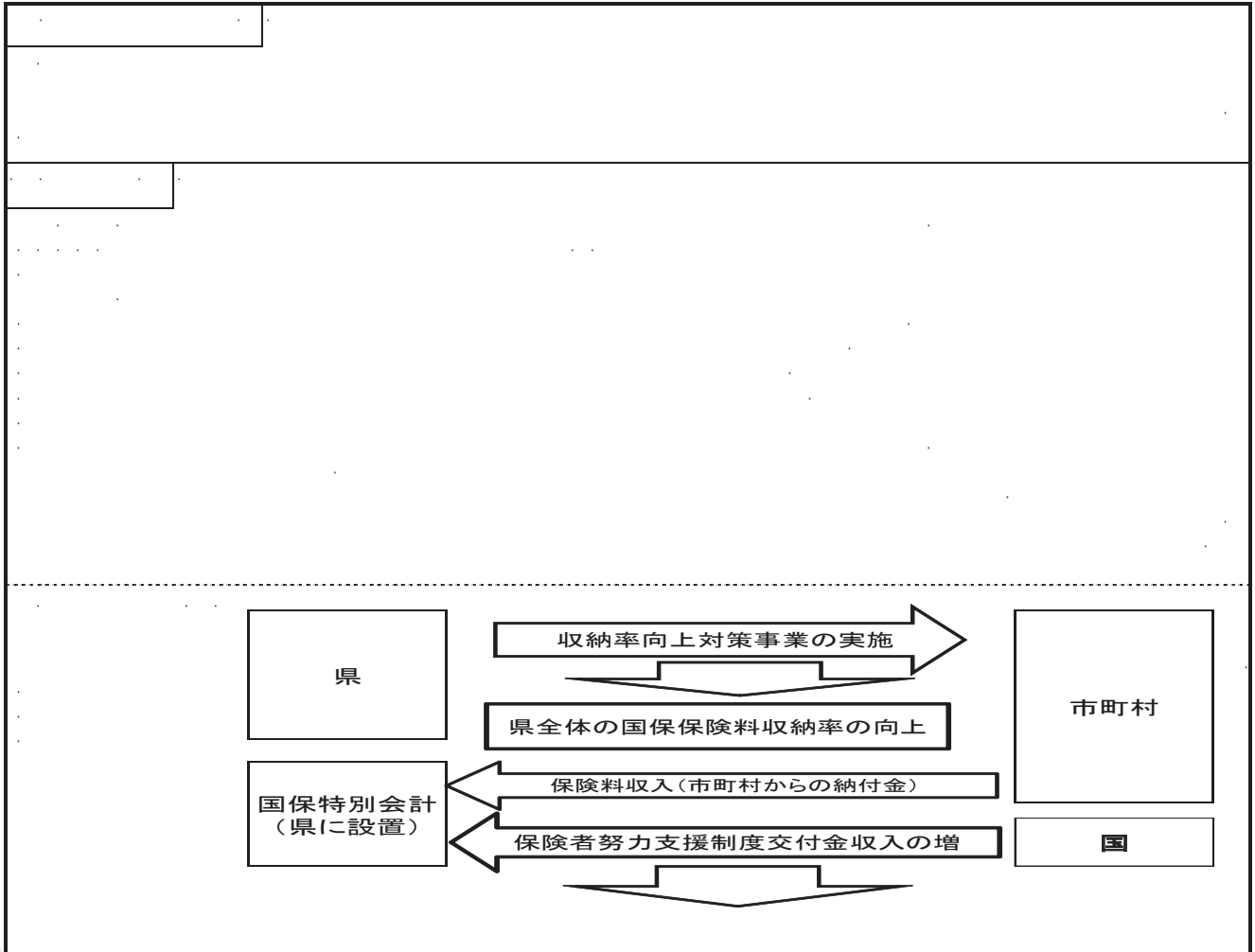
		<&+	<&	<&	< \$		
		\$	)	%\$	%\$		
		\$	%\$	&\$	&\$		

&\$ ("&

	<&				<&		
	%Z\$%\$	%A	%A	%A	<&		

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	+		&	
	&		%	



		<&+	<&	<&	<\$
			%	%	%
			-&)*	-&)*	-''**
			%"+	&%%	&&)'
		& &*		\$'(	%(

	&				&	
	**)				&'&	
	\$				%&*(	

--	--	--	--	--

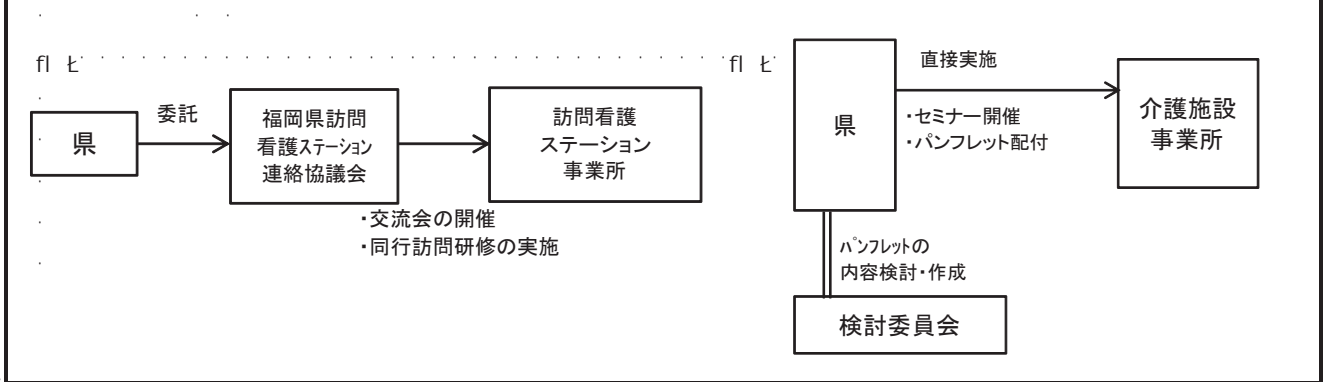
		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				

& ( '\*)

&&

&&



		<&+	<&	<&	<\$
		%")	%"\$	%")	%")

<\$      <&      <&

<&

<&

	<&				<&		
	z+&				*\$\$		
	\$				&(*)		




事業名	住宅型有料老人ホーム等安心点検事業	部課(室)	保健医療介護部 介護保険課	事業 開始年度	H28
-----	-------------------	-------	------------------	------------	-----

総合 計画	10の事項	3	高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること	中項目	3	適切な介護サービスを受けられる社会をつくる
	小項目	1	適切な介護サービスの確保	施策	1	供給量の確保及びサービスの質の向上

**1 事業のねらい・目的**  
住宅型有料老人ホーム等における利用者処遇等に係る指導の強化等を行い、介護サービスの質の向上を図る。

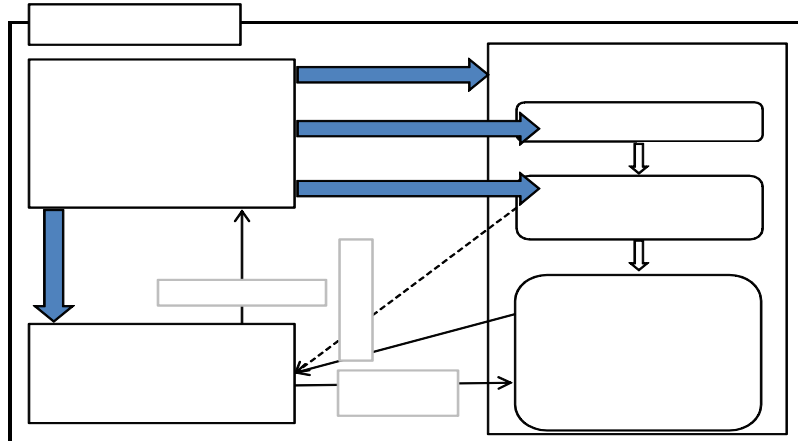
**2 事業概要**

1 施設に対する指導・検査 (663千円)  
 (1) 講習会(集団指導)  
 管理者を対象に県内2か所(北九州、福岡)で実施(政令市・中核市と共催して実施)  
 (2) 立入検査  
 3年間ですべての施設(348施設)を対象に重点的に立入検査を実施

2 施設職員に対する実務研修 (823千円)  
 初心者や無資格の施設職員を中心に、介護技術や専門知識についての研修を実施する。(政令市・中核市と共催して実施)

3 市町村職員に対する虐待対応力向上研修 (273千円)  
 (1) 市町村職員及び地域包括支援センター職員を対象に、虐待防止の基礎知識、通報・相談受付の対応、虐待が確認された場合の改善指導についての研修を実施する。  
 (2) 3年間で60市町村の担当係長及び担当者、地域包括支援センター(現在172カ所)の3職種(社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャー)を対象として実施する。

【事業スキーム図】



**3 事業目標等**

成果指標		H27	H28	H29	H30	H	H
立入検査を行う施設数	目標	-	116	116	116	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-

【指標の考え方】  
 全施設数を集中的に確認する必要があるため、施設に対する立入件数を指標として設定する。

4 事業費(千円)	H28当初			人件費	H28		
歳出	1,759	-	-	時間	3,890	-	-
(うち一般財源)	1,759	-	-	人件費(千円)	15,981	-	-

**5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等**



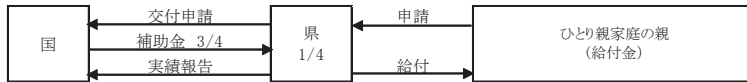




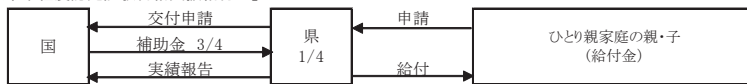
		fl		
--	--	----	--	--

%\$				


【自立支援教育訓練給付金】【高等職業訓練促進給付金】



【高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金】



		<&*	<&+	<&	<&	<\$	<
		\$	\$	\$	\$	\$	
		\$	\$	\$	\$	\$	
		%%	\$	\$	\$	\$	
		fl	\$				
		<&+	<&	<&	<\$	<	<
			)\$	)\$	)\$		
			(\$	%%			

	<&			<&		
	+&+, %			%(		
	&(z&,			+)*		





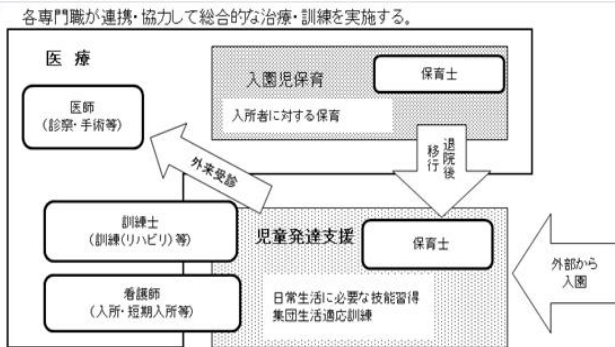

事業名	重複障害児等対策事業	部課(室)	福祉労働部 障害者福祉課	事業 開始年度	H28
-----	------------	-------	-----------------	------------	-----

総合 計画	10の事項	3	高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること	中項目	4	障害者が自立して生活できる社会をつくる
	小項目	2	障害者の地域生活支援	施策	2	障害者福祉サービスの充実

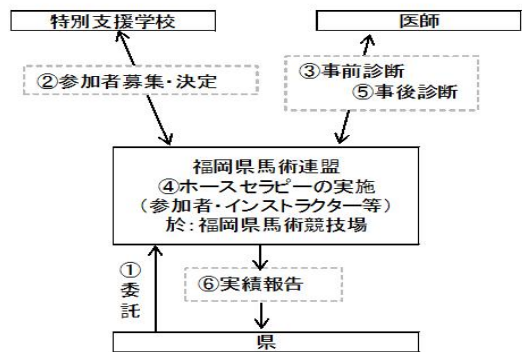
1 事業のねらい・目的	<p>1 児童精神科と児童発達支援事業を粕屋新光園で開設し、心身の障害児へ身体面と精神面の双方から適切な治療や訓練を行う。</p> <p>2 県馬術競技場の資源を活用し、重複障害児や発達障害児に対し、ホース・セラピーによる社会生活適応力の養成を図る。</p> <p>3 介護老人保健施設で、重症心身障害児者へのレスパイトケアを提供できる事業所数を県内で13事業所（全圏域に、各1事業所増を目標）増やし、利用者家族のレスパイトケア事業の活用促進を図る。</p>
2 事業概要	<p>1 粕屋新光園重複障害児対策事業費（事業費2,752千円）〈新規〉                  医師（整形外科、小児科、児童精神科）、及び各療法士（OT、PT、ST）、保育士、心理療法士等の複数の専門職種が連携・協力して心身の重複障害児に対して総合的な支援を行う。                  ①児童精神科医による心身の重複障害児の機能改善向上事業（事業費1,131千円）                  知的・精神面から患児の診断や治療を行うため、児童精神科を粕屋新光園に設置（月2回の診察）                  ②心身の重複障害児を対象とした児童発達支援事業所設置事業（事業費1,621千円）                  0～6歳の重複障害児を対象とした児童発達支援事業所を粕屋新光園に設置</p> <p>2 動物介在療法による重複障害児等の社会生活適応力養成事業費（事業費3,417千円）〈新規〉                  重複障害児や発達障害児を対象に、医療・教育・スポーツの面から療法効果が期待できるホース・セラピーを活用し、障害児の社会生活適応力を高める養成事業を実施（福岡県馬術競技場（古賀市）の資源を活用し、県馬術連盟と連携の上実施）                  ・4コース（肢体不自由・知的障害・発達障害・精神障害各5人計20人）（1人当たり、平日3時間×6日間×月2回3か月）                  ・応募者に、開始前と修了後の計2回医師の診察を受けてもらい、診断情報提供協力により、事業効果を年報にまとめる。</p> <p>3 介護老人保健施設のレスパイトケア利用促進事業（事業費1,424千円）〈新規〉                  レスパイトケア体験型説明会の実施                  ① 受入れ側（介護老人保健施設職員向け）（事業費284千円）〈新規〉                  重症心身障害児者を受け入れた実績のある老健施設で、レスパイトケアに従事した看護師・介護士による説明（2か所）                  ② 利用者側（家族、相談支援員、市町村の窓口職員向け）（事業費1,140千円）〈新規〉                  ・介護老人保健施設の実施しているレスパイトケアの紹介（4地域）                  ・重症心身障害児者の老健施設のレスパイトケア体験利用に対し、県が老健施設と委託契約し、当該老健施設へ報酬相当額を援助</p>

【事業スキーム図】

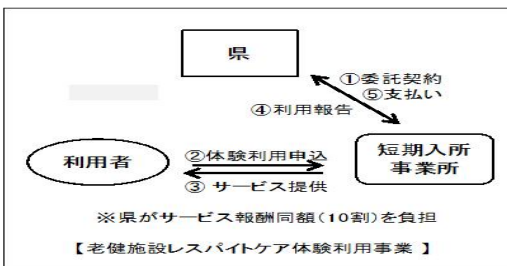
1 粕屋新光園重複障害児対策事業費



2 動物介在療法による重複障害児等の社会生活適応力養成事業費



3 介護老人保健施設のレスパイトケア利用促進事業（レスパイトケア体験利用事業）



3 事業目標等

成果指標		H27	H28	H29	H30	H31	H32
児童精神科受診者数	目標	-	168人	168人	168人	168人	168人
	実績	-	-	-	-	-	-

		fl 七			
--	--	------	--	--	--

%\$					

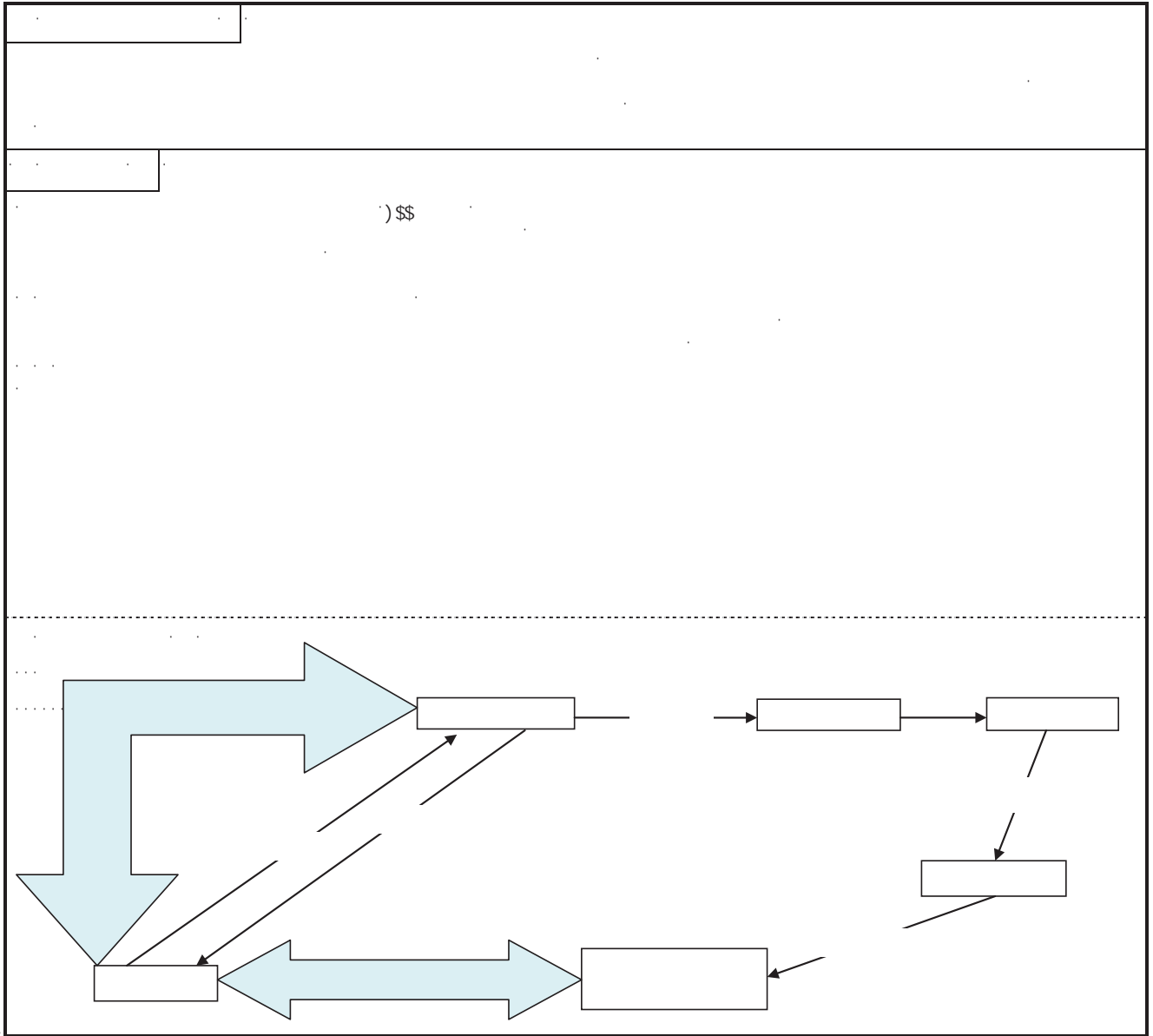
---

--	--	--	--	--	--

<+   <   <-   <\$   <   <

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$			



		<&+	<&	<&	<\$	<	<		
			*\$	*\$	*\$				

&      &\*

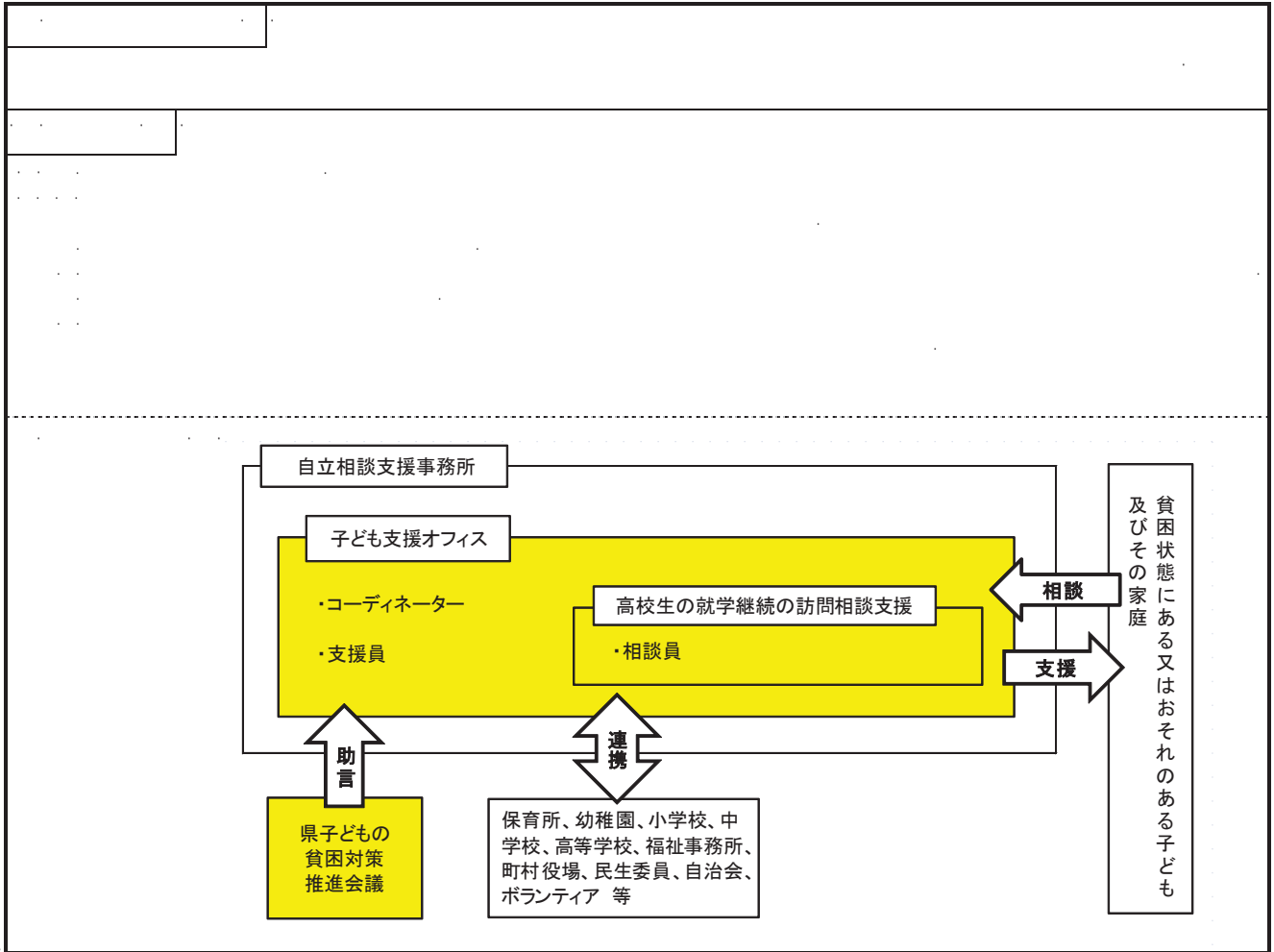
	<&				<&		
	)\$\$				%)\$		
	)\$\$				(%)		






			fl 七		
--	--	--	------	--	--

%\$	+				
	%			%	



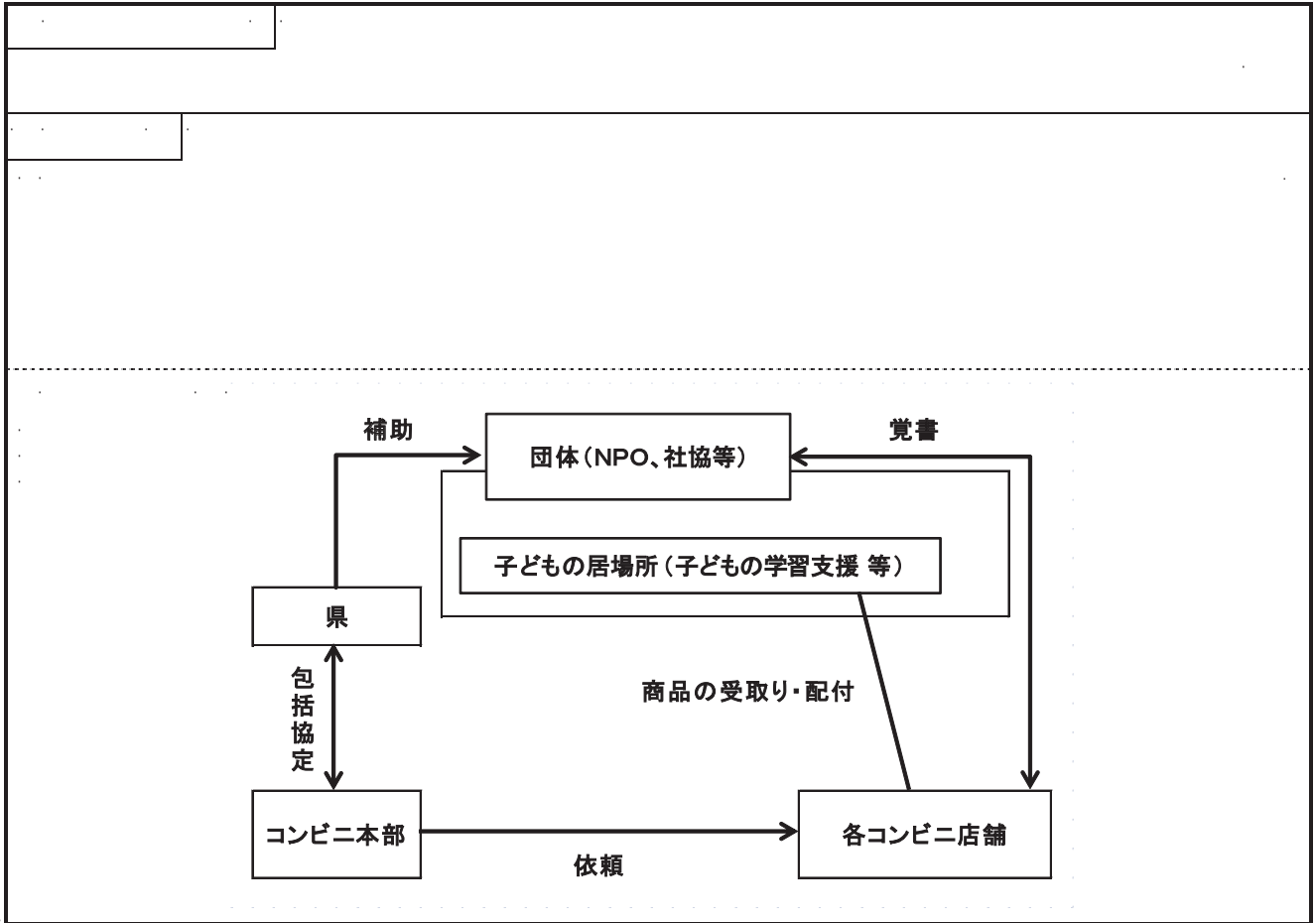
		<&+	<&	<&	<\$	<%	<&
			(((\$	(,(	)''	,+	*(*
			(&	(*	)%	)*+	*&
				(	)	*	*

<&				<&		
)'ž)(-				%&' -)		
%ž\$%&				)ž+' %		

--	--	--	--	--	--

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	+			
	%		%	



		<&+	<&	<&	<\$	<%	<&
			%	&	+	+	+

	<&				<&		
	&*\$				(*)		
	&*\$				%-%		

--	--	--	--	--

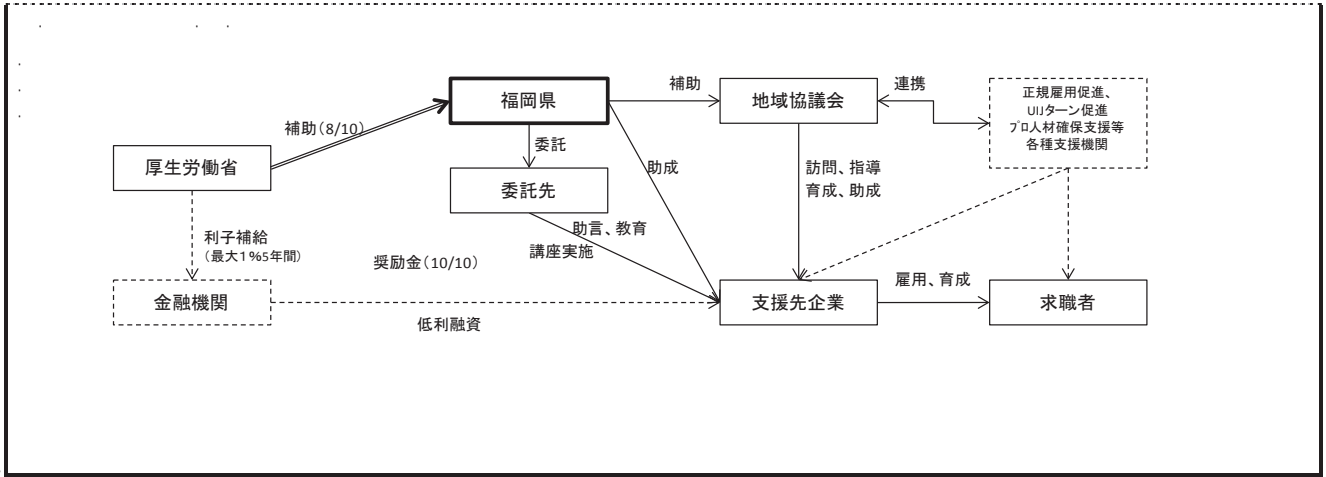


		<&+	<&	<&	<\$	<	<
		%&\$\$\$	%&\$\$\$	%&\$\$\$	%&\$\$\$		
		&\$	%&\$	%&\$	%&\$		

+z% \$      %&\$\$\$      3 %"%"      %&\$\$\$      (&\$  
 %&\$\$\$ 3 %\$    %&\$      %&\$\$\$ 3 ('      3 \*1      3 +\$    %      &\$

	<&+ &				<&		
	%&, \$%				%&-)		
	%&, \$%				, z&&		



		<&+	<&	<&	<\$	<	<
			*\$	*\$	*\$		
			\$	\$	(\$)		

	<&				<&		
	&(*z\$-\$				&z-'\$		
	(-z&%				%z\$+		










		fl		
--	--	----	--	--

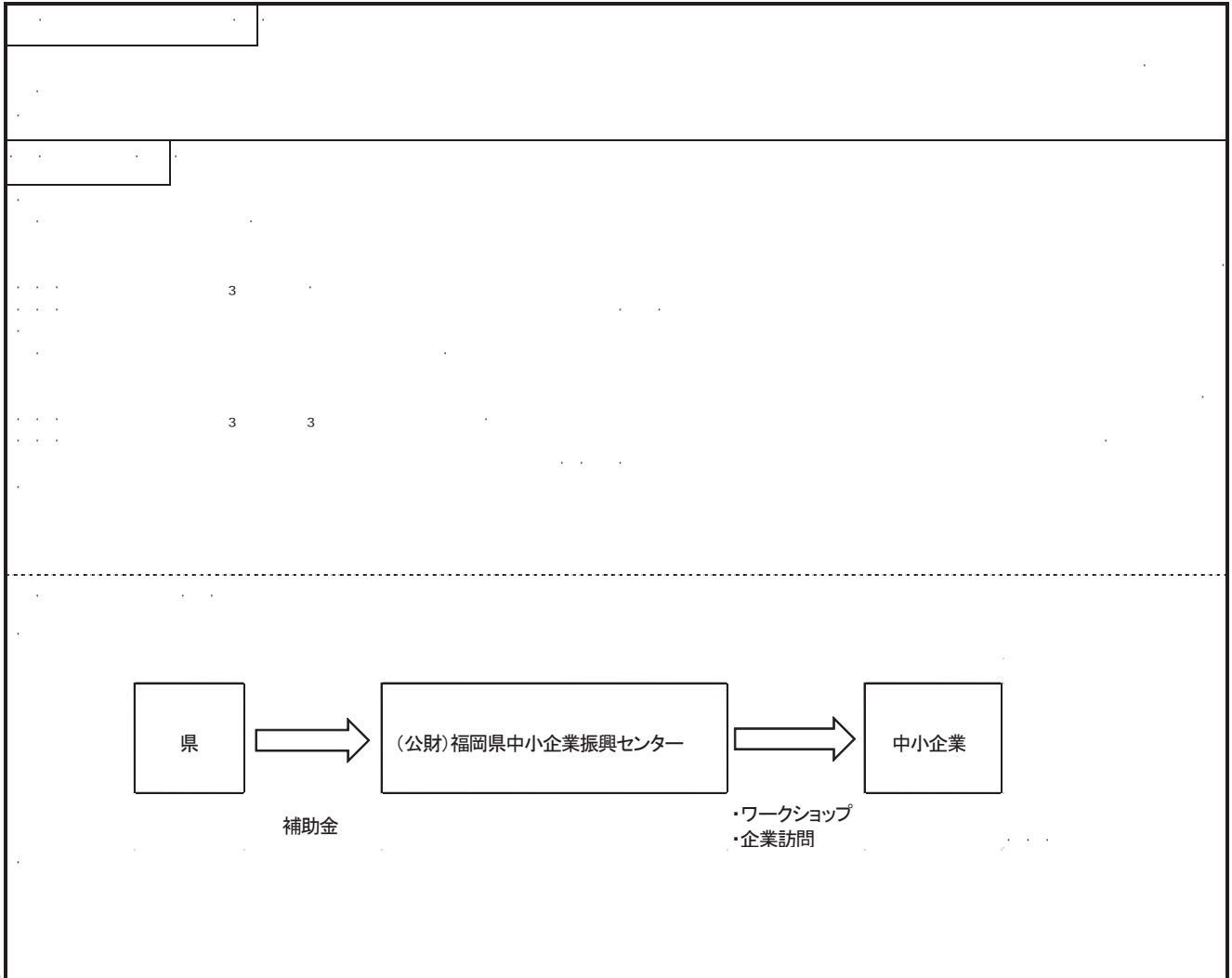
%\$				






		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



		<&+	<&	<&	< \$

\*( % 3 ,

	<&+&	<&			<&	
	% ( *	\$			\$\$ (	
	% ( *	\$				

<& <&+&




事業名	小規模指導事業 (地域における経営改善支援強化事業)	部課(室)	商工部 中小企業振興課	事業 開始年度	H28
-----	-------------------------------	-------	----------------	------------	-----

総合計画	10の事項	1	活力にあふれ成長力にとんだ経済と雇用の創出	中項目	2	発展力のある中小企業をつくる
	小項目	1	総合的な中小企業支援	施策	1	経営基盤の強化

**1 事業のねらい・目的**

地域中小企業支援協議会が選定する重点支援企業の事業計画の策定と実行への徹底支援や、小規模事業者の広域連携の取組み支援により、地域中小企業の成功事例を創出する。

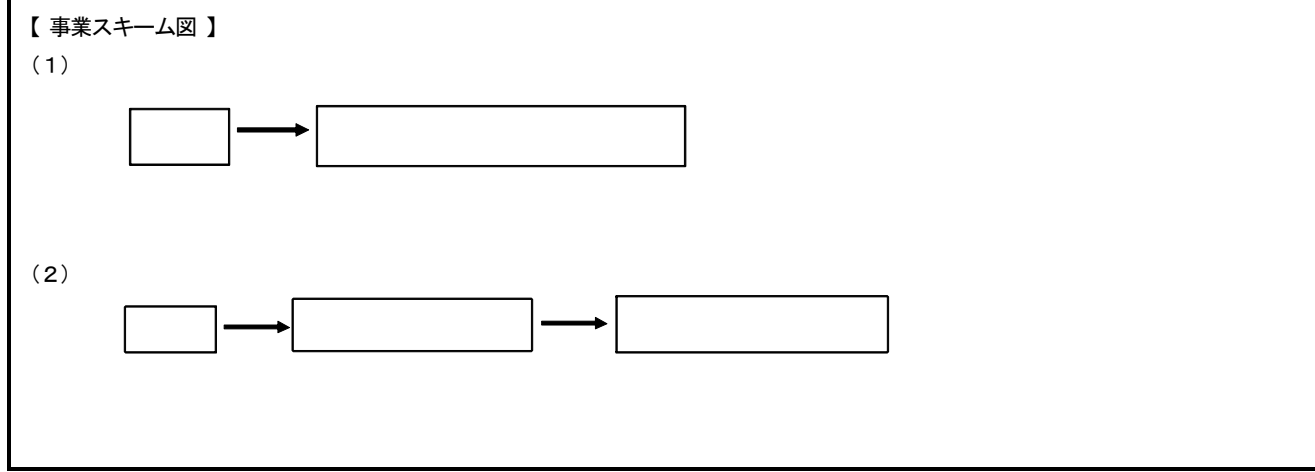
**2 事業概要**

(1) 地域中小企業支援協議会による地域企業支援

- ① 専門家による相談窓口  
県内中小企業の様々な相談に対応できるよう、各協議会に専門家が常駐する相談窓口を設置
- ② 合同研修会の開催  
若手社員を育成するための研修会を開催

(2) 商工会議所・商工会による広域連携の促進

- ① 小規模事業者による広域連携支援  
既存の商圈を越えて複数の小規模事業者が連携し、事業者が有する強みや地域の魅力的な素材を広域的に組み合わせた商品開発や、販路開拓、域外需要を取り込むためのPR活動などを支援



**3 事業目標等**

成果指標		H27	H28	H29	H30	H31
事業計画終了時に売上が向上した企業	目標	—	—	—	—	100
	実績	—	—	—	—	—

【指標の考え方】  
地域中小企業支援協議会の成果目標として、重点支援企業のうち1/2の企業が、事業計画終了時(5年)に売上向上を達成することとしているため

\* 地方創生総合戦略における重要業績達成指数(KPI) : 売上又は経常利益が向上した重点支援企業数 5年間で100社

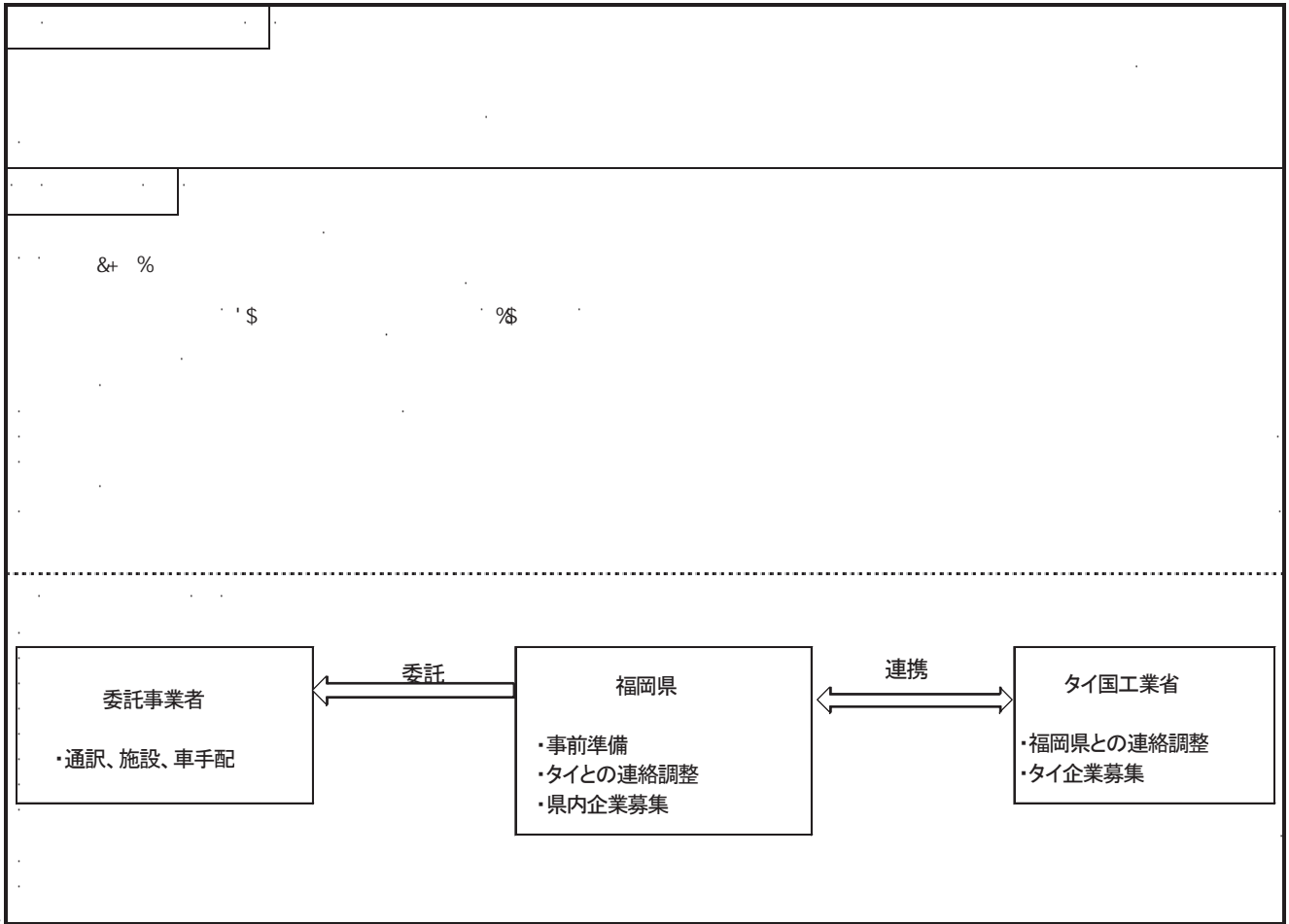
4 事業費(千円)	H27.2月補正	H28当初		人件費	H28		
歳出	46,454	0	—	時間	716	—	—
(うち一般財源)	46,454	0	—	人件費(千円)	2,942	—	—

※当事業のH28予算は、前倒してH27.2月補正予算で計上

**5 立案過程での変更点、実施に際しての留意点等**

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



		<&+	<&	<&	<\$
			%\$	%\$	%\$

%\$

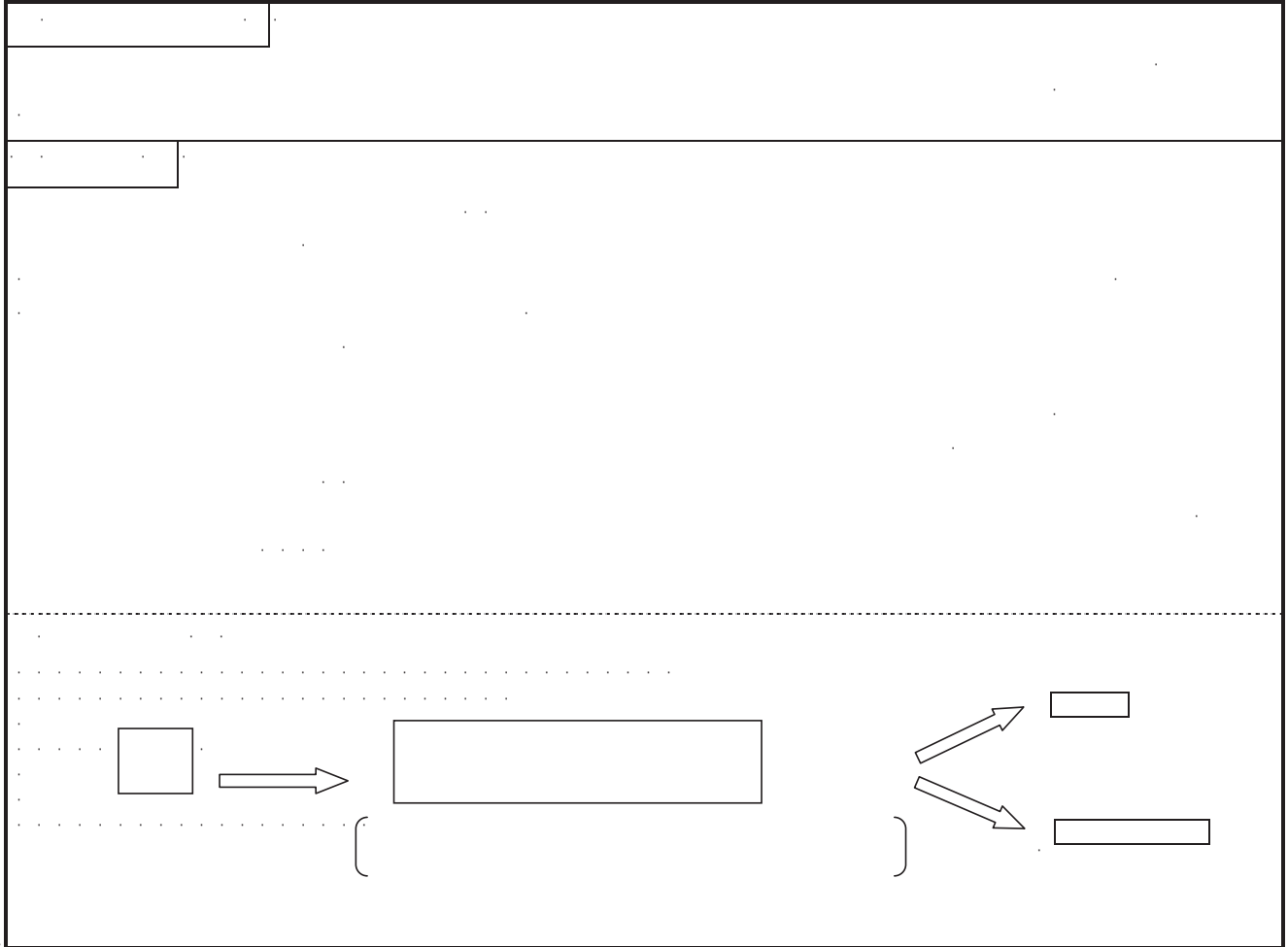
	<&+&	<&			<&		
	½-	\$			+\$&		
	½-	\$			&, (		

--	--	--	--	--	--



		fl E'		
--	--	-------	--	--

%\$	%		&
	%		*



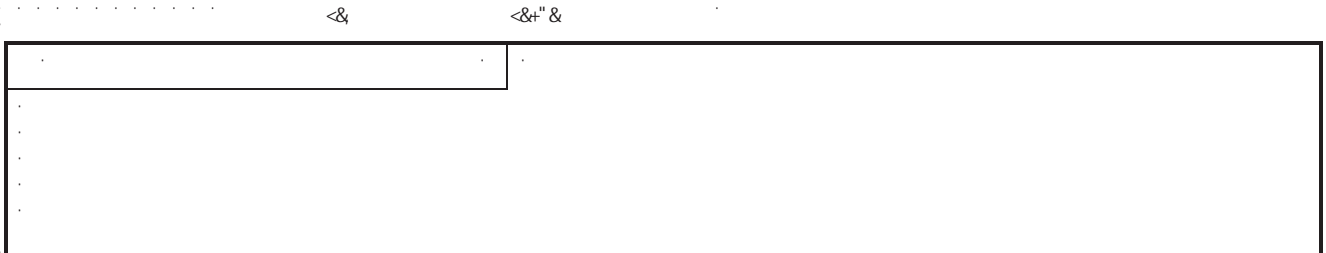
		<&+	<&	<&	<\$	<%
		)Z, *%	*Z' -)	*Z-&	+Z(*'	Z\$\$\$

< %

, Z\$\$\$

, \$Z\$\$\$ ) %\$ <% <& <& , \$Z' , ' 3 %\$ , Z\$\$\$

<&+&	<&			<&	
%&)(,	\$			&/%	
%&)(,	\$				



		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				

fl 七

fl 七

fl 七

---

		<&+	<&	<&	<&	< \$	< %
		%\$	%\$	%\$	%\$	%\$	%\$
		& -	(' -	), -	+ -	, -	, -
		%-					

%\$

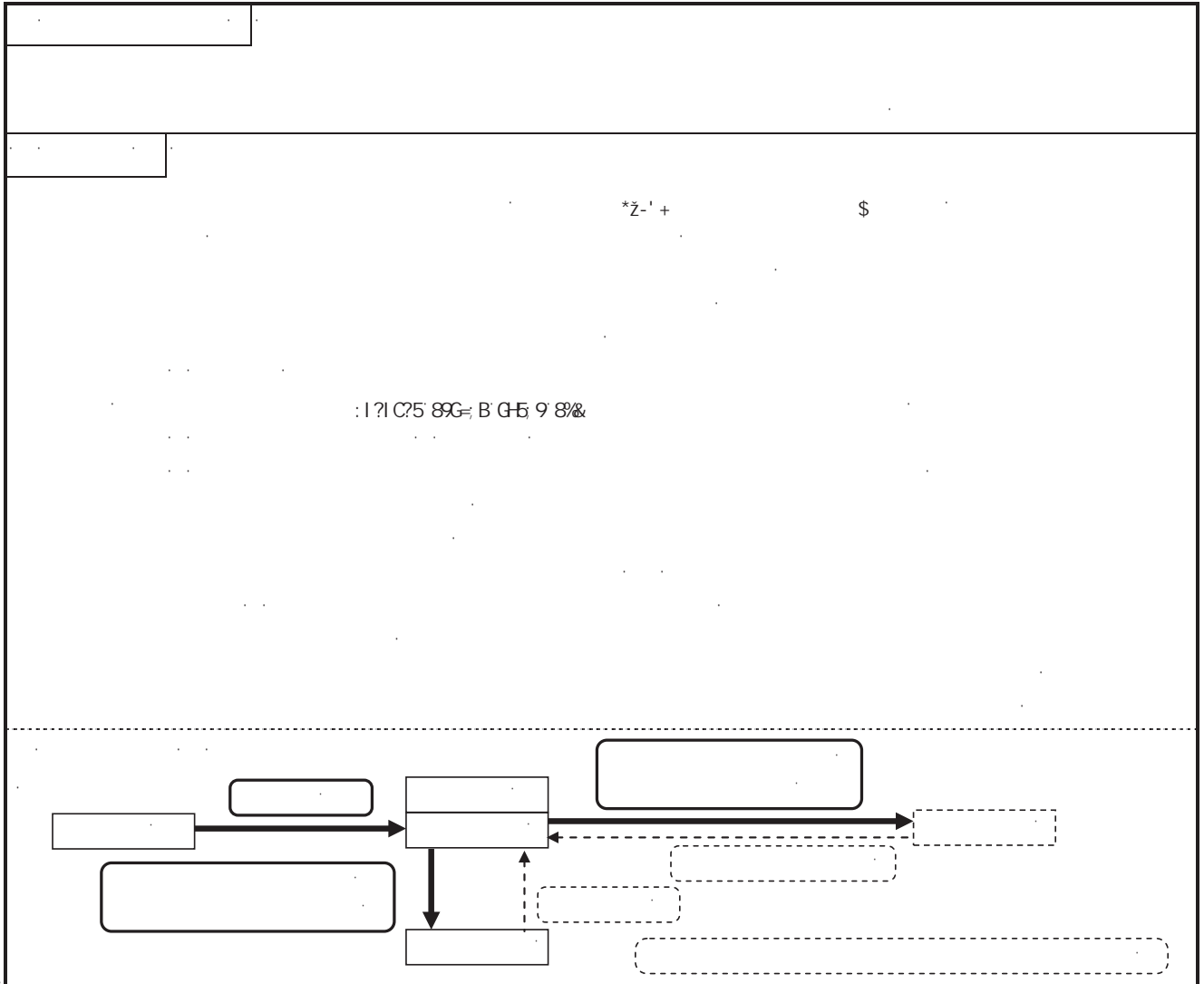
	<&+&	<&			<&		
	+ž)*&	&ž&ž&			ž(')		
	+ž)*&	&ž&ž&			%ž%ž(')		

<&                      <&+&

--	--

		fl E'		
--	--	-------	--	--

%\$				



		<&+	<&	<&	<\$
			&&\$	&&\$	&&\$
		%" (			
		&+	%" (	&	&&\$

	<&+"&	<&			<&		
	*Z-' +	\$			&&		
	*Z-' +	\$			%\$ *		

<&      <&+"&


			fl	七		
--	--	--	----	---	--	--

%\$						

--	--	--	--	--	--	--

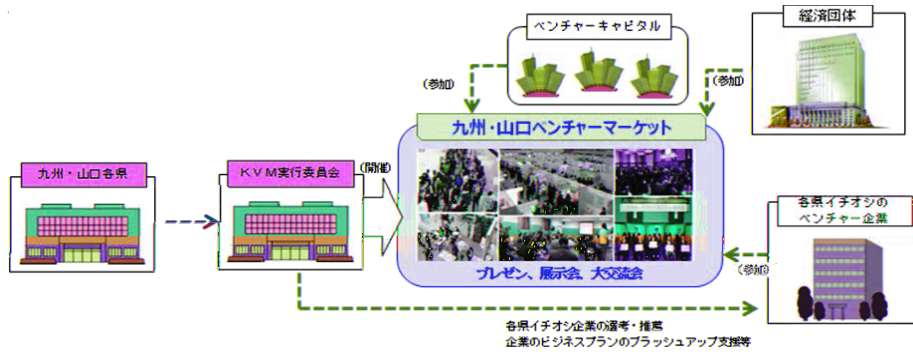
--	--	--	--	--	--	--

fl 七

O Q

3

fl		七	



				<&+	<&	<&-	< \$	< %
				)\$	)\$	)\$	)\$	)\$
				)\$	)\$	)\$	)\$	)\$

	<&+&	<&			<&		
	%\$*(	\$			--\$		
	%\$*(	\$			(Z\$+		

<& <&+&

--	--	--	--	--	--	--











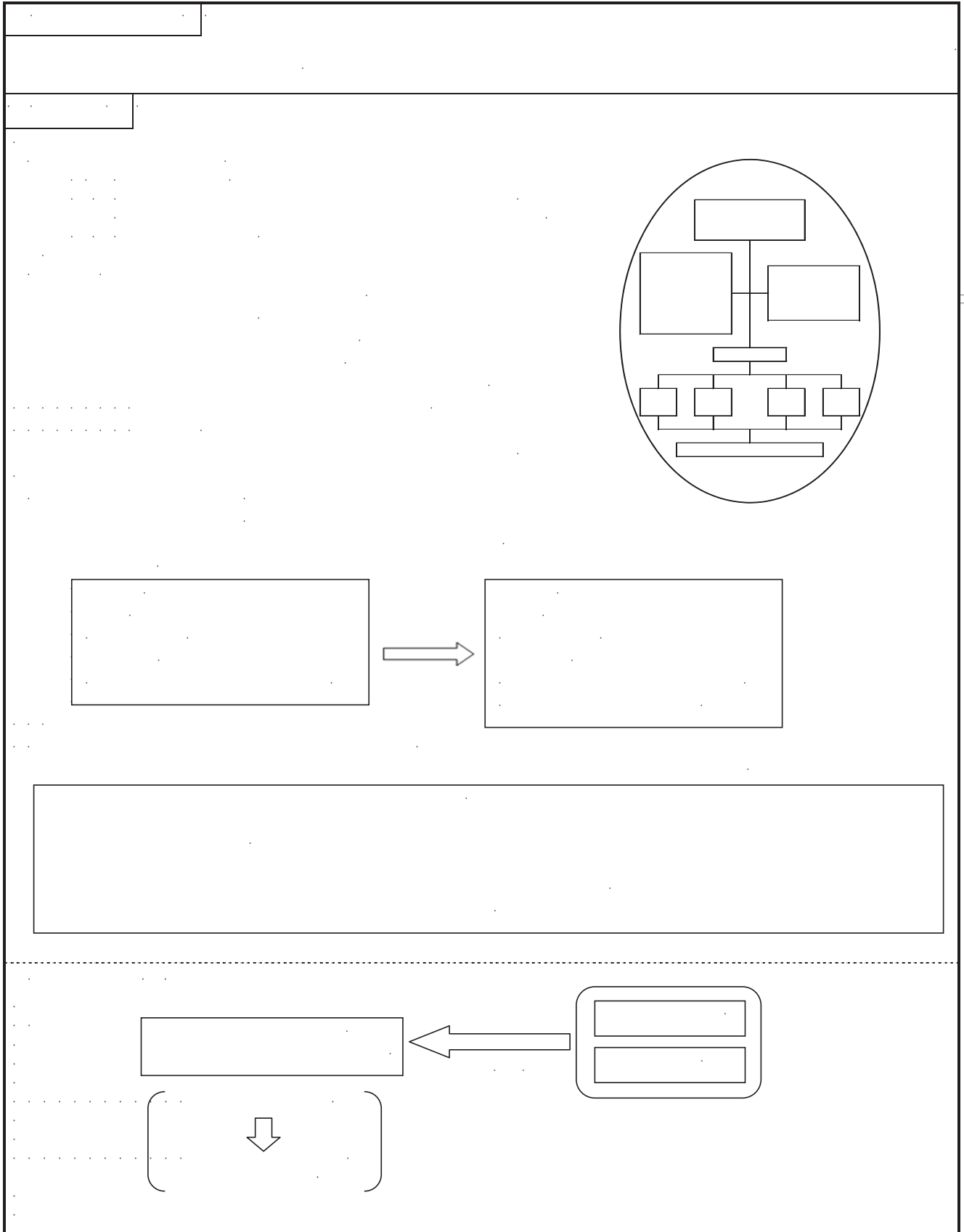
		<&+	<&	<&	< \$
			%-	%+	%+





		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	%		%
			%





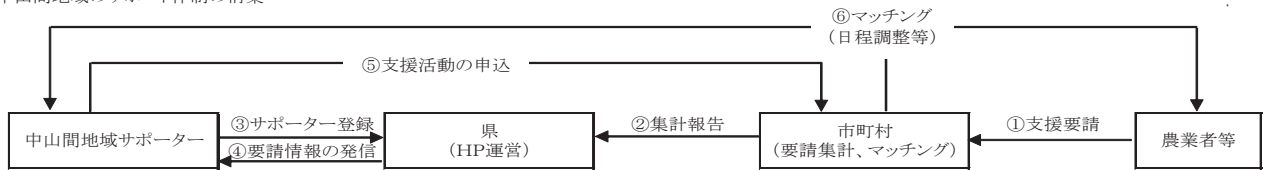
		fl 七			
--	--	------	--	--	--

%

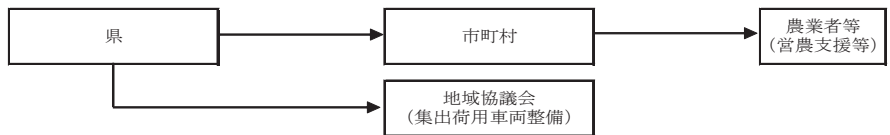
		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	%			

1. 中山間地域のサポート体制の構築



2. 中山間地域での活動定着に向けた支援

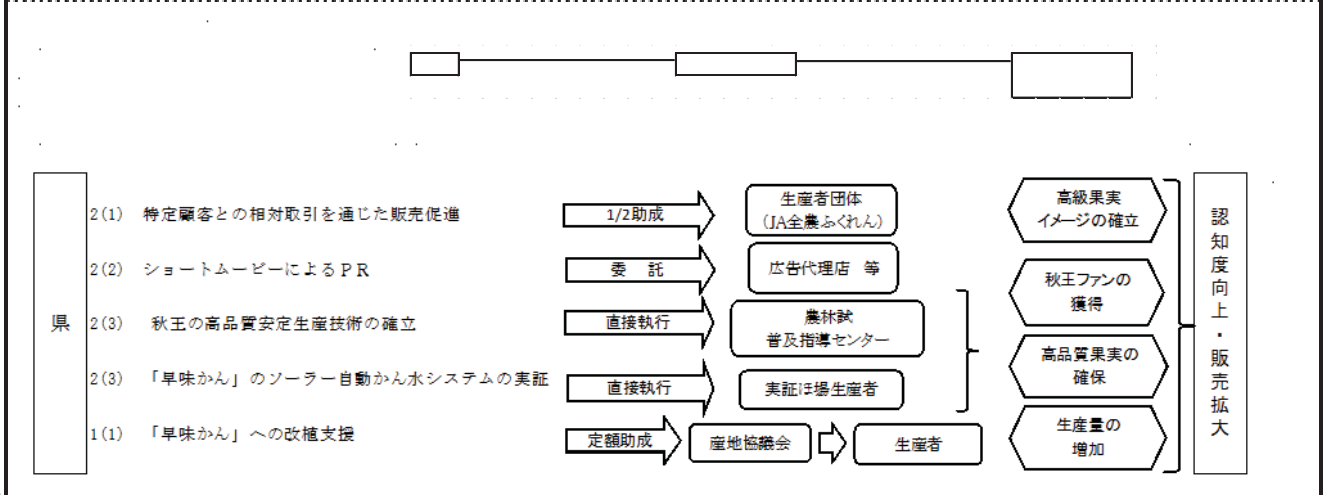


		<&t	<&	<&	<\$	<	<
		\$	)\$\$	%\$\$\$	&\$\$\$		

	<&				<&		
	+z%&\$				%*-)		
	+z%&\$				*z-*		

			fl 七		
%\$	%				
	%			%	

1 優良品種への転換促進(拡充)  
 消費サイドから高い評価を得ている「早味かん」、「北原早生」、「秋王」等への転換を、国の改植支援とセットで加速化。  
 (1) 極早生系統への改植は国の支援の対象外であるため、早生普通品種から極早生の「早味かん」への改植に係る経費を助成。  
 ※国の改植支援の内容  
 ・優良品種への改植及び園地整備  
 ・改植後収穫ができるまでの未収益期間の樹の育成  
 (2) 改植に伴い導入する乗用防除機や果樹棚などの整備に係る経費を助成。



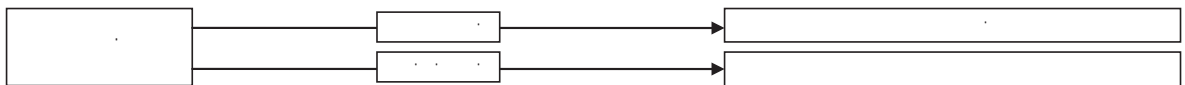
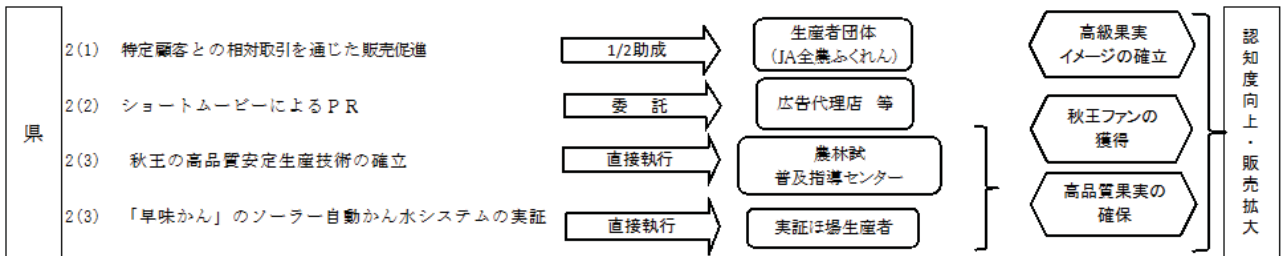
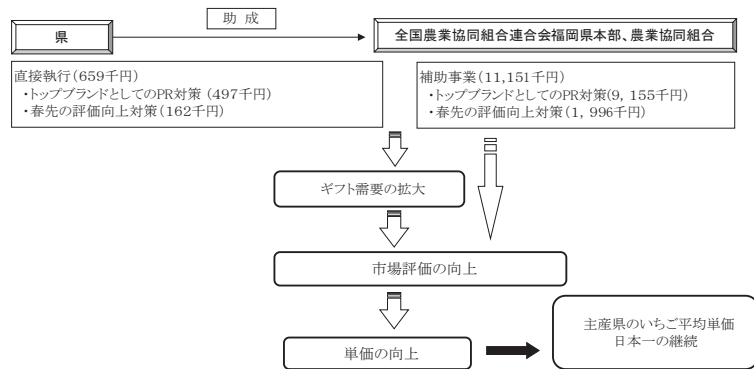
		<&+	<&	<&	<\$	<%
		)	)	*	&	-)
		(	%)	%)	%)	%)
			(\$	+\$	%)	%)
		&				

	<&				<&	<&	<&
	)	ž(-*			*\$\$		
	)	ž(-*			&ž(*)		




		fl七		
--	--	-----	--	--

%\$	%			
	%		%	

		<&+	<&	<&	<\$
		\$	-	'&	),&
			&	*&	%&
		*+ +			
			)	)	)

	<&				<&	<&	<&
	&Z-+				)Z', \$		
	&Z-+				&&Z%&&		

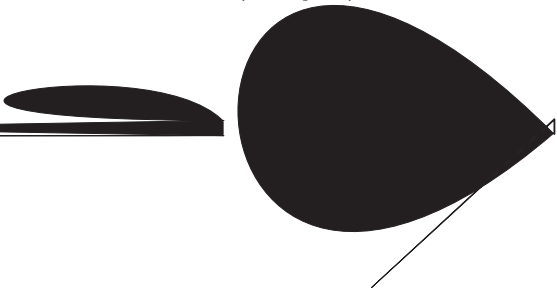

		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				


0/16

\$

01/27/2017 12:00:00



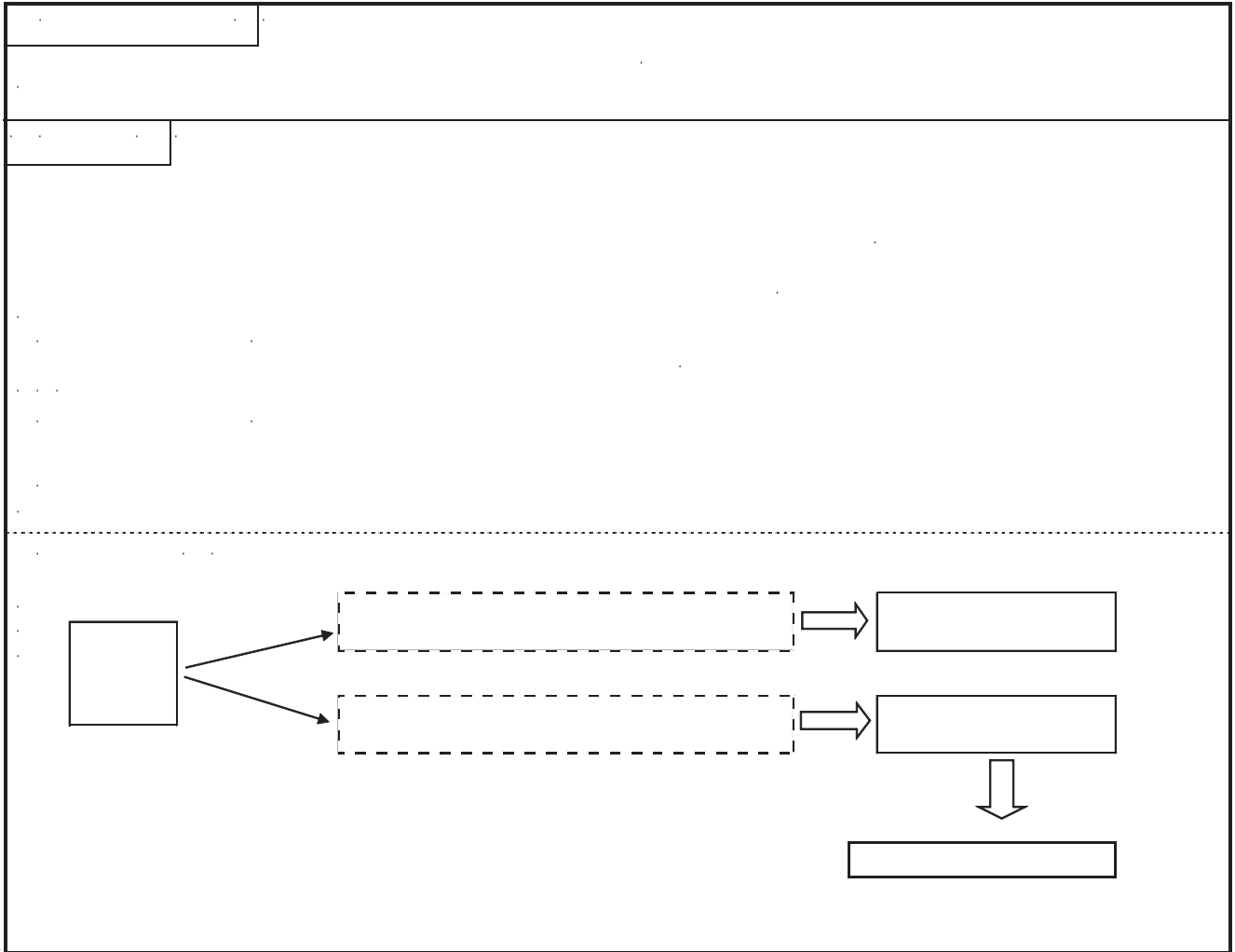
---





		fl 7		
--	--	------	--	--

%\$			

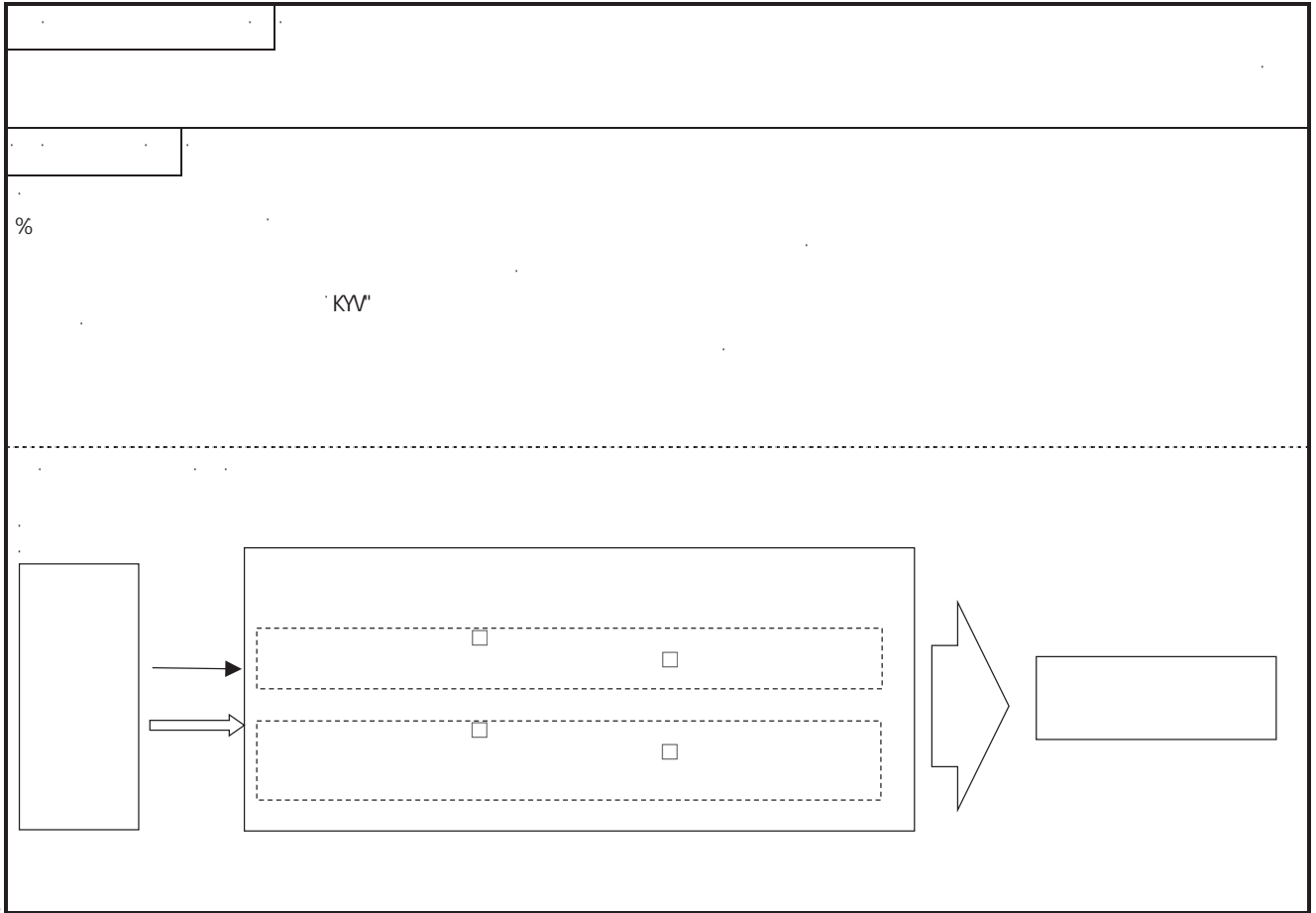


		<&+	<&	<&	<\$	<	<
			)\$	()\$	))\$		
		&('	)	%\$	%)		
	fl 7						

	<&				<&		
	'Z' %				%(+&		
	&%&%				*Z\$(+		


		fl 7		
--	--	------	--	--

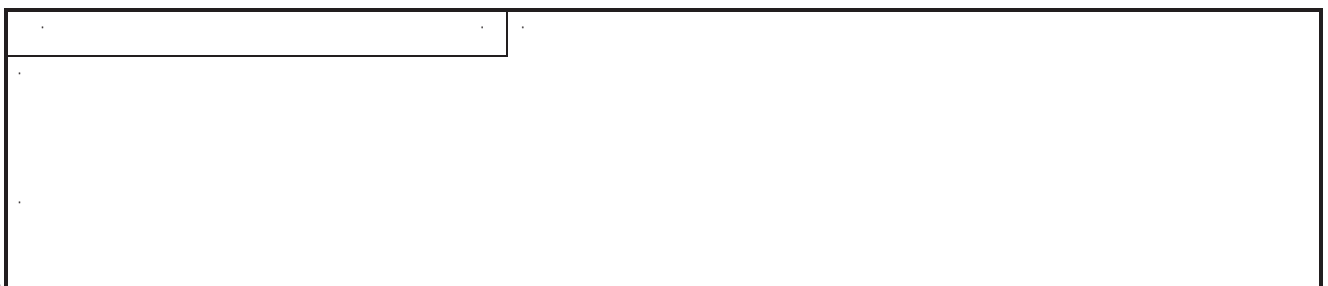
%\$	%			



		<&	<&+	<&	<&	<\$	<
		&&	&&	&&	&&	&&	
		&%					

&&&

	<&				<&		
	-ž- &&				%ž, &&		
	-ž- &&				+ž- )		

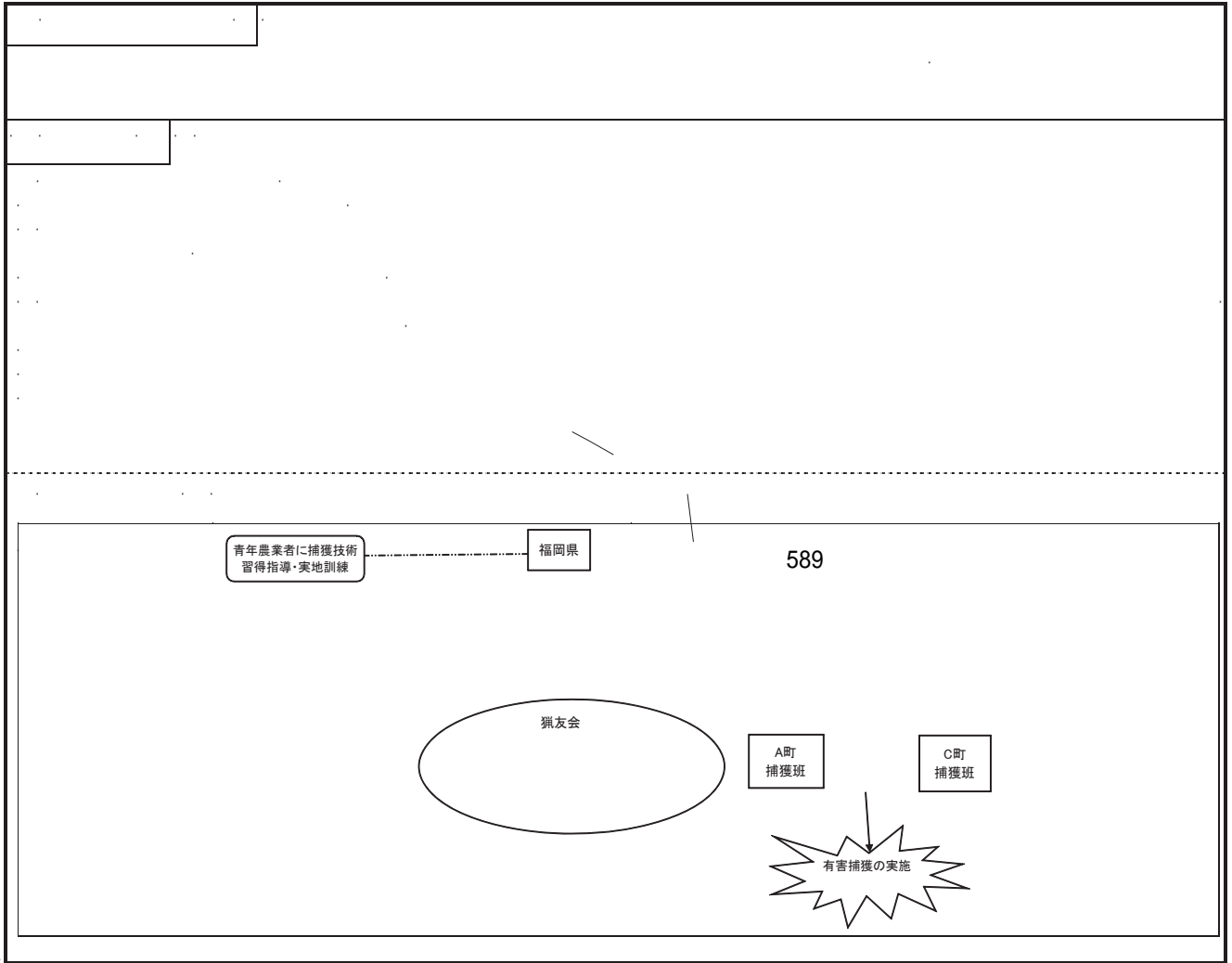






		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



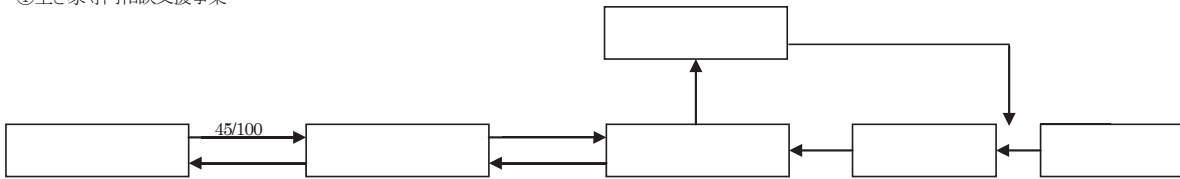
		<&+	<&	<&	<\$	<%	<&
		)Z(-	)Z\$\$\$	)Z\$\$\$	)Z\$\$\$	)Z\$\$\$	)Z\$\$\$
		(,-	(-\$	(-\$	(-\$	(-\$	(-\$

	<&				<&		
	)Z(-				*+\$		
	)Z(-				&Z+		


		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$			


①空き家専門相談支援事業



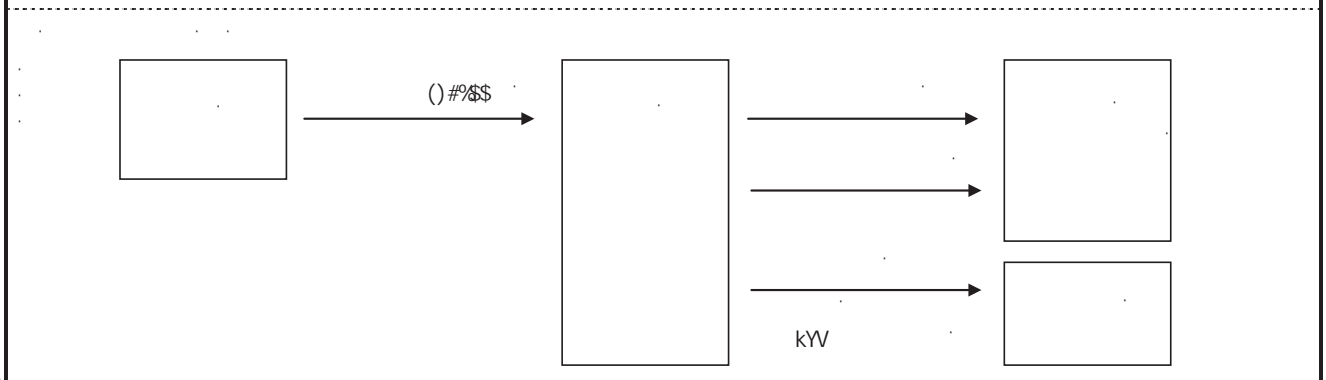
		<&+	<&	<&	<&
			& ,	& ,	& ,

	<&				<&		
	(z) \$\$				%& , * +		
	&z* - \$				+z* + \$		


		fl 7		
--	--	------	--	--

%\$			

7	%#&	\$
	fl 7	%# \$ )\$
	fl 7	%# \$
	fl 7	%# \$
		kVW



	<f1\$	7	<7	<7	<\$	<%	
			*)\$	+\$	+\$	,\$	
	*\$%						
	<7	<\$	<7				
	%1	71	&H				

<7 )

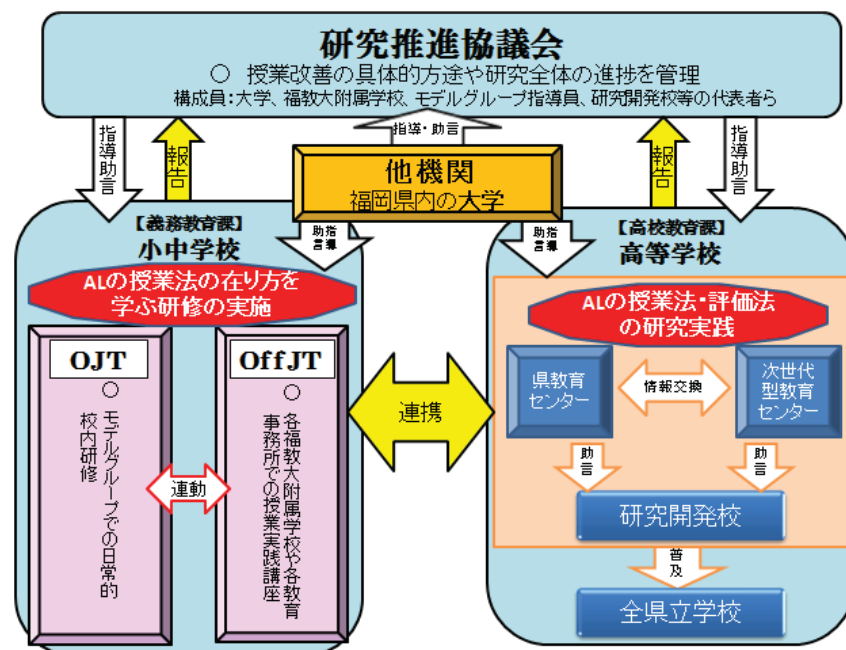
<7				<7		
(7-)				((7		
& z** (				%7, \$		

		fl 七		
--	--	------	--	--

%				

--	--

--	--

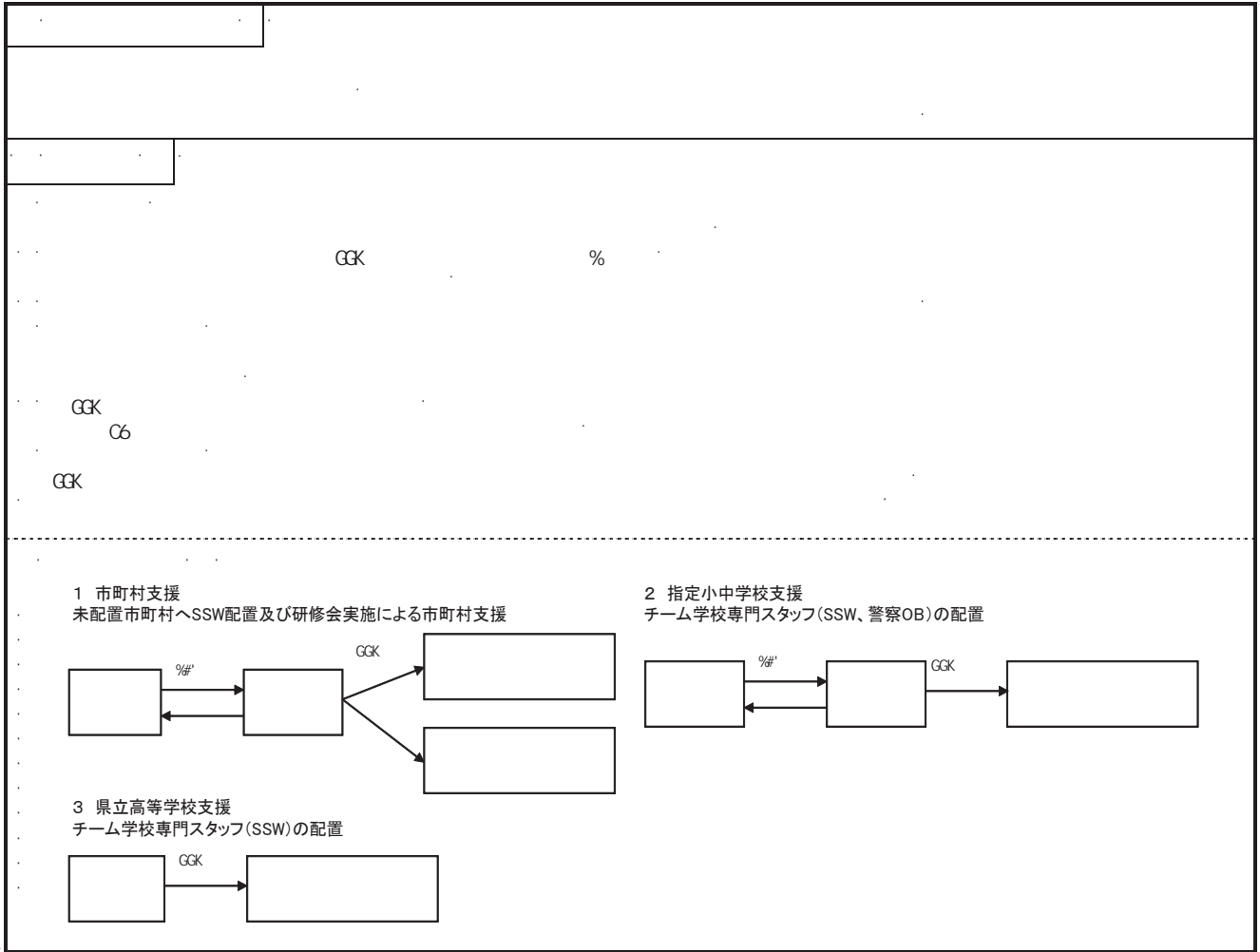






		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				



(細)事項名	成果指標		基準値(H26)	H28	H29	H30	目標(H30)
未配置市町村へのSSWの配置	学校と福祉関係機関とのケース会議の実施率	目標	—	100%	100%	100%	100%
		実績	—	—	—	—	—
(細)事項名	成果指標		基準値(H26)	H28	H29	H30	目標(H30)
指定小中学校支援	指定中学校設置市町における1,000人当たりの暴力の発生件数	目標	10.7件(国平均)	30件	20件	10件	10件
		実績	36.3件	—	—	—	—
※H26値は、強化指定予定の中学校が存する市町の平均値							
(細)事項名	成果指標		基準値(H26)	H28	H29	H30	目標(H30)
指定高等学校へのSSWの配置	高等学校における中退率	目標	1.4%(国平均)	3%減	6%減	10%減	10%減
		実績	1.1%	—	—	—	—
	高等学校における不登校率	目標	1.81%(国平均)	3%減	6%減	10%減	10%減
		実績	1.63%	—	—	—	—

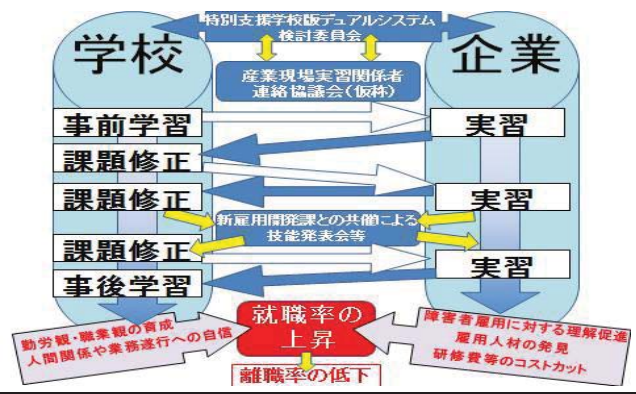
GGK                      GGK                      %\$\$\$                      %\$

&\*                      %\$                      %\$+                      %\$

<&				<&		
)\$z' * -				%&)		
.)z, *%&				*z) &('		


		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	*		%	
	%			

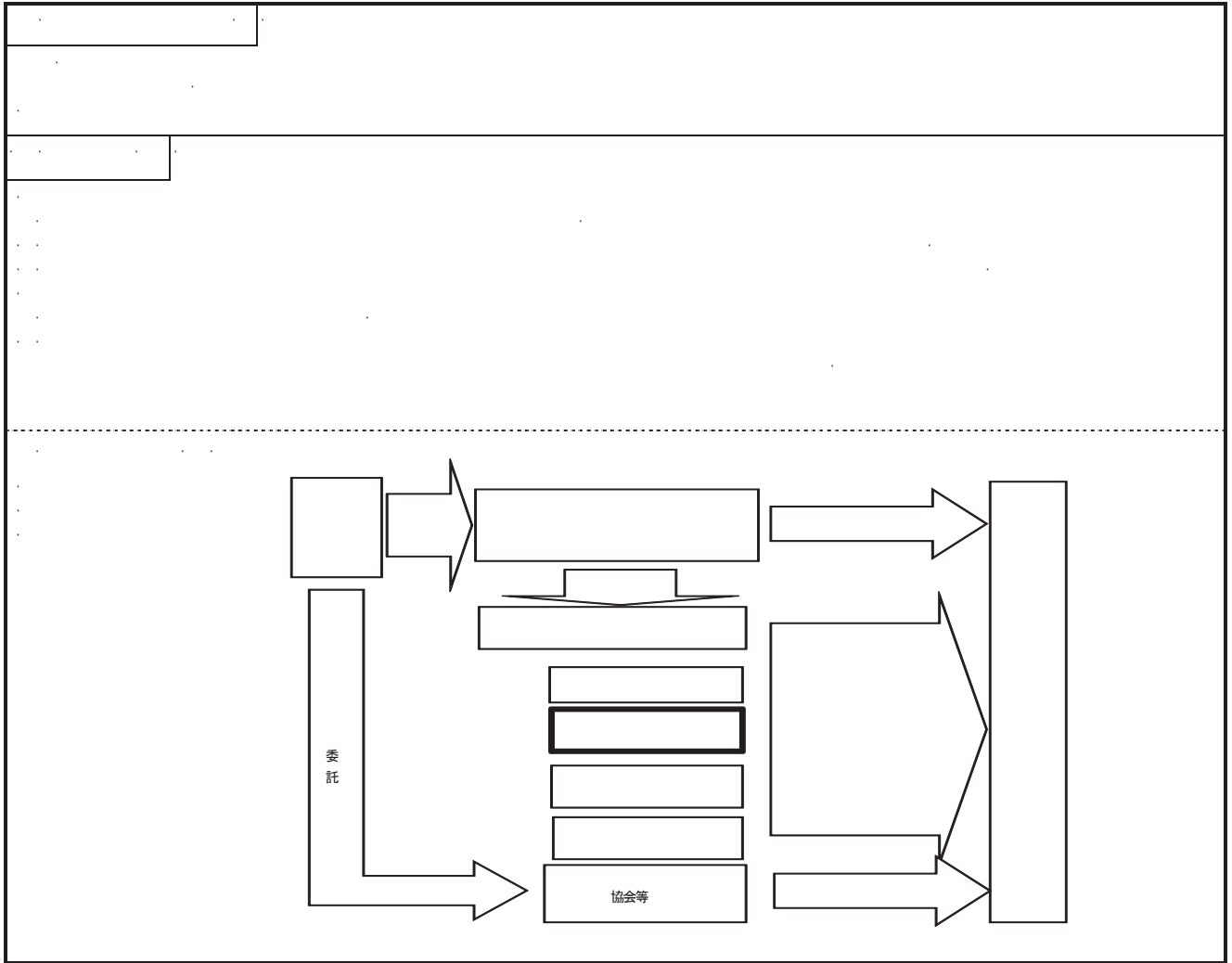
(細)事項名	成果指標	基準値	H28	H29	H30	目標(H30)
就職希望率の上昇	県立知的障害校高等部における就職希望率	目標	—	45.0%	47.5%	47.5%
		実績	42.2%(H26)	—	—	—
就職率の上昇	県立知的障害校高等部卒業生の就職率	目標	—	35.0%	37.5%	37.5%
		実績	30.9%(H26)	—	—	—

	<&			<&		
	)Z* \$			%\$&		
	Z-\$&			(Z' *\$		




		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$	&		&	
	&		%	



		<&*	<&+	<&	<&	<\$
		,"&		%&\$	%&\$	%&\$

	<&				<&		
	-&				\$		
	-&				&		

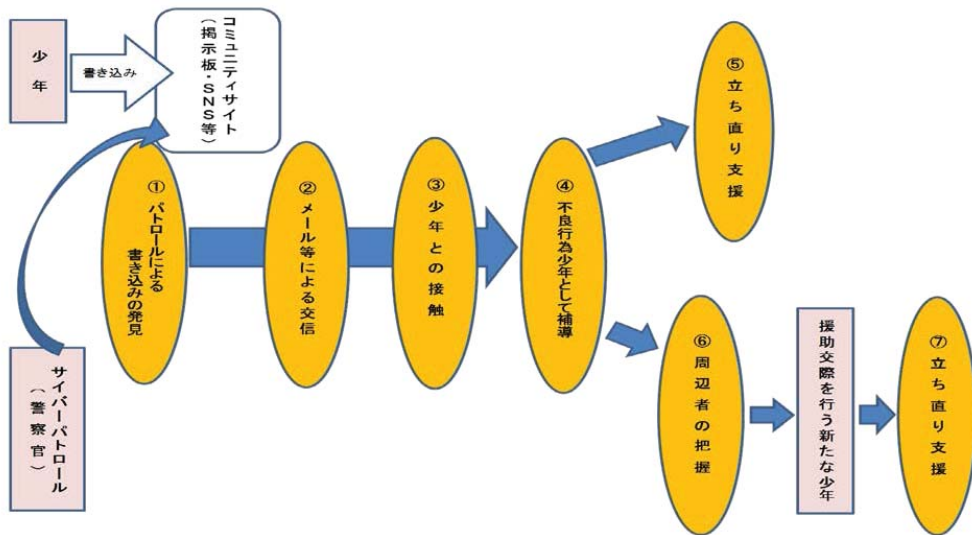
--	--	--	--	--	--	--



		fl 七		
--	--	------	--	--

%\$				

fP%
fR%



		<&	<&	<\$
		)\$\$	)\$\$	)\$\$
		'%	'%	'%

	<&	<&	<\$		<&	<&	<\$
	'z)%				'z)%		
	'z)%				'z)%		